

## 令和3年度 緑区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	区民から親しまれる区役所づくり事業	5,461	5,461	5,663	5,663	△202	△202
2	広報・広聴事業	2,763	2,331	2,763	2,331	0	0
3	みどり！まるごと応援事業	5,148	5,148	4,064	4,064	1,084	1,084
4	みどり地域まちづくり推進事業	2,348	2,348	2,928	2,928	△580	△580
5	アートによる緑区の魅力発信事業	5,000	5,000	4,500	4,500	500	500
6	みどり環境行動啓発事業	900	900	1,000	1,000	△100	△100
7	緑区商店街振興事業	3,169	3,169	2,810	2,810	359	359
8	花と緑あふれるふるさと緑区事業	5,000	5,000	2,500	2,500	2,500	2,500
9	生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業	4,600	4,600	5,000	5,000	△400	△400
10	3R推進事業	2,258	2,258	2,147	2,147	111	111
11	きれいなまちづくり事業	2,498	2,498	2,318	2,318	180	180
12	区民まつり事業	5,600	5,600	5,400	5,400	200	200
13	地域振興事業	2,189	2,189	2,189	2,189	0	0
14	災害に強いまちづくり事業	7,867	7,867	7,567	7,567	300	300
15	安全・安心まちづくり推進事業	1,820	1,820	1,967	1,967	△147	△147
16	交通安全対策事業	3,554	3,554	2,802	2,802	752	752
17	交通安全施設等整備事業	2,500	2,500	0	0	2,500	2,500
18	市民活動パワーアップ支援事業	3,462	3,462	3,572	3,572	△110	△110
19	緑・芸術文化事業	2,361	2,361	3,611	3,611	△1,250	△1,250
20	みどリスポーツ振興事業	1,720	1,720	1,795	1,795	△75	△75
21	読書活動推進事業	500	500	500	500	0	0
22	子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori	3,500	3,500	3,500	3,500	0	0
23	青少年地域サポート事業	1,373	1,373	1,479	1,479	△106	△106
24	あんしん子育てネットワーク事業	7,998	7,998	7,523	7,523	475	475
25	保育所すこやか子育て支援事業	2,367	2,331	2,717	2,681	△350	△350
26	DV対策・児童虐待防止事業	645	645	645	645	0	0

## 令和3年度 緑区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
27	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業	5,877	5,877	7,798	7,798	△ 1,921	△ 1,921
28	健康たうん・みどり推進事業	2,586	2,586	4,004	4,004	△ 1,418	△ 1,418
29	高齢者生きがい推進事業	463	463	475	475	△ 12	△ 12
30	障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業 【前年度：障害者自主製品販売支援事業】	425	425	395	395	30	30
31	暮らしの衛生推進事業	1,666	1,666	1,636	1,636	30	30

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	窓口サービス向上	事業開始年度	平成20年度
------	--------	---------	----------	--------	--------

事業名 区民から親しまれる区役所づくり事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価書 番号
	中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価書 番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,461					5,461
前年度	5,663					5,663
増△減	△ 202	0	0	0	0	△ 202

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	3,497	3,488	4,132	予	事業費	4,023	4,023
算	メリット+一般財源	3,497	3,488	4,132	算	一般財源	4,023	4,023
決	事業費	3,450	7,030	4,617	方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット+一般財源	3,450	7,030	4,617	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要 (目的)	「おもてなしの行政サービス」による区民満足度の向上や、「協働による地域づくり」の推進のため、区役所職員の接遇向上や庁舎環境の整備に取り組むとともに、人権問題への気づきの場として職員向け人権啓発研修や区民向け人権啓発講演会を実施します。また、緑区の各表彰制度に基づき区民・団体を表彰します。
---------------	--

(説明)	
1 地域の課題等	区役所において、区民満足度の向上を図り、協働による地域づくりを推進することは普遍的に取り組むべき課題です。正確かつ親切・丁寧な窓口サービスを提供し、区民が快適に利用できる庁舎環境を維持する必要があります。また、差別のない社会の実現のため、人権啓発活動は継続して実施することが重要です。さらに、緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体について、区として功労を称える必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート
2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針 「目標達成に向けた組織運営」
3 根拠法令・要綱等	横浜市人権施策基本方針、緑区長表彰要綱、緑区こもれび踊るふれあいのまちづくり顕彰要綱

【実績の推移・今後見込み】			
○責任職向け・職員向け接遇向上研修受講者数			
	30年度	元年度	2年度
	区役所の9つの窓口において実践的な研修を実施	51名	PCで確認できる研修資料を作成し、全職員に受講を勧奨
○人権啓発講演会参加者数			
	30年度	元年度	2年度
タイトル	共に、生きる。写真で紡ぐ希望～フォトジャーナリスト 安田 菜津紀が出会った世界～	ふつうって何だろう？～「子育て」を支える活動を通して～	開催中止
講師	安田 菜津紀 (フォトジャーナリスト)	星山 麻木 (明星大学教授)	—
参加者数	303名	278名	—

- 【実施内容】
- 接遇向上等研修事業  
職員向けに接遇向上研修を実施し、日頃市民に接する機会の多い職員の接遇向上を目指します。
  - 人権啓発・職員研修事業  
(1) 区民向け人権啓発講演会を開催します。  
(2) 責任職向けに人権に関するグループ研修及びグループ全体研修を実施します。  
(3) グループ研修により理解を深めた人権問題について、各グループによる職員向け研修を実施します。  
(4) 各区局が主催する講演会・研修へ積極的に参加します。
  - 緑区表彰事業  
緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、その功績を称え表彰を行います。
  - 緊急的課題への対応  
庁舎の美化・緑化や窓口環境の整備などを行うとともに、緊急的課題等に対応します。

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
接遇向上等研修事業	400	500	△ 100	実績による減
人権啓発・職員研修事業	615	615	0	
緑区表彰事業	200	190	10	実績による増
緊急的課題への対応	4,246	4,358	△ 112	実績による減
			0	
			0	
事業費合計	5,461	5,663	△ 202	

【根拠とするデータ等】  
区役所窓口外部評価、窓口サービス満足度調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	総務課庶務係
	山田 源太	佐藤 治憲	秋山 勇也

[ 緑 区 区政推進 課 ]

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成17年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	広報・広聴事業
-----	---------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	3
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,763		432			2,331
前年度	2,763		432			2,331
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	7,026	6,700	1,881
メリット+一般財源	7,026	6,277	1,499
決 算 事業費	7,203	7,447	1,764
メリット+一般財源	7,203	7,056	1,618

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	2,763	2,763
一般財源	2,331	2,331

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要(目的)	区民に積極的な区政情報の提供を行って区民生活の利便性を高めるとともに、区政への理解を深めます。また、広聴事業により、多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

- ・区民や転入者向けに震災時の避難場所や公共施設等の情報を入手する手段を提供する必要があります。
- ・区政及び市政運営に当たって、市民の声を反映させていくことは重要です。
- ・市民からの提案事業をはじめ、緑区役所意見箱など様々な広聴手段により区民ニーズを把握し、区政・市政に反映させていく必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	------	--------	-------------

2 運営方針等との関係

令和2年度緑区運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」

3 根拠法令・要綱等

「緑区役所意見箱」事業の実施に関する取扱要綱

【実績の推移・今後見込み】

- みどり区民生活・防災マップ発行事業  
区内の公共施設や医療機関、防災拠点等を掲載した地図及びバスマップを転入者等に配布します。  
発行時期：3月
- 広報発信力アップ事業  
緑区WEB等において区民に効果的な広報を行うとともに、年1回、職員向け広報スキルアップ研修を実施します。
- 緑区役所意見箱運営事業  
来庁した区民から市政・区政に対する意見や要望を聴取し、市政・区政運営への反映や市民サービスの向上を図ります。
- 緑区「ふれ愛トーク」  
緑区内で活動している団体と区長が意見交換する場を設けます(年3回)。  
懇談の様子は広報よこはま、緑区WEBで発信します。
- 駅PRボックス活用事業  
区内6駅PRボックスへの広報よこはま特集ページまたは新型コロナウイルス感染症対策等の重要情報の掲出(毎月1日)、広報よこはま追加補充(毎月10日・区内6駅合計500部)、簡易清掃と印刷物(チラシ)の配架(毎月1日・10日)を行います。

【実施内容】

- みどり区区民生活・防災マップ発行事業  
平成29年度～令和2年度：区民生活・防災マップ（15,000部）  
令和3年度：区民生活・防災マップ（15,000部）、バスマップ（7,000部、隔年発行）
- 広報発信力アップ事業  
緑区WEBのブランディングエリアを活用した情報発信 令和2年度（7月14日時点）：14件  
広報スキルアップ研修参加者数（カッコ内は緑区職員及び区内の区民利用施設職員）  
平成29年度「デザイン・ディレクション基礎講座」：41人（33人）、  
平成30年度「チラシや広報物の作り方」：36人（18人）、令和元年度「写真撮影の知識」：36人（14人）  
令和2年度「自治体ウェブサイトの課題とユーザー目線に立った情報発信のヒント」：30人（24人）
- 緑区役所意見箱運営事業  
相談件数 平成29年度：29件、平成30年度：37件 平成31（令和元）年度：64件
- 緑区「ふれ愛トーク」  
実施回数 平成29年度：3回、平成30年度：3回、平成31（令和元）年度：2回
- 駅PRボックス活用事業  
区内6駅PRボックスへの広報紙及び新型コロナウイルス感染症対策等重要情報の掲示・補充、簡易清掃、印刷物等の配架：12か月（1日、10日）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
みどり区区民生活・防災マップ発行事業	1,790	1,590	200	バスマップの更新による増
広報発信力アップ事業	327	206	121	イラストレーターの使用による増
緑区役所意見箱運営事業	45	45	0	
緑区「ふれ愛トーク」	40	40	0	
駅PRボックス活用事業	561	551	10	消耗品費を追加
総合窓口改善事業	0	331	△ 331	実施済み
事業費合計	2,763	2,763	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談 係
	山下 みや美	山下 育子	宮本 千央

[ 緑 区 区政推進 課 ]

予算区分	街づくり推進費 街づくり推進費	性質・ 課題区分	地域まちづくり 水・緑環境保全	事業開始年度	平成20年度
------	--------------------	-------------	--------------------	--------	--------

事業名
みどり！まるごと応援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
13	4

事業評価 書番号	
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,148	0	0			5,148
前年度	4,064	0	0			4,064
増△減	1,084	0	0	0	0	1,084

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算	事業費	4,628	4,833	3,415
	メリット+一般財源	4,628	4,833	3,415
決算	事業費	4,957	3,675	3,063
	メリット+一般財源	4,957	3,675	3,063

歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	3,641	4,026
	一般財源	3,641	4,026

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑区は、緑被率が市内1位（平成26年度緑被率調査）、田の栽培面積が市内2位（2015年世界農林業センサス）等、緑が豊かで農業の盛んな地域です。地場野菜、直売所等、緑区における農業の魅力を区民に広く発信することで地産地消を進め、農業の振興を図ります。また、自然や歴史等、緑区の魅力を区民とともに見つけ、広く発信していく取組を進めます。</li> <li>・地域のつながりづくり及び郊外部のよりよいまちづくりを目的として、地域団体が空き地や空き家に花壇・菜園の設置や地域活動の拠点となる施設を設置する事業を実施します。</li> </ul>
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消条例の施行を踏まえ、緑区の「農」の魅力を多くの方に周知し、地産地消の取組を進め、区内の活性化につなげていく必要があります。</li> <li>・将来に残したい緑区の魅力を後世に引き継ぐために、行政と区民が一体となって共に考える機会が必要です。</li> <li>・多くの地域で地域活動の担い手の育成が課題となっており、空き地・空き家等を活用した地域のつながりづくりの取組を実現したい、との声が上がっています。</li> </ul>
地域の課題等の収集手段	8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度緑区運営方針「みどりの魅力あふれるまち」
3 根拠法令・要綱等	横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例 等

【実績の推移・今後見込み】

1 とれたてみどり地産地消推進事業  
<実施経過>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み
地産地消講座の実施回数	3	3	3	2
「農」の魅力番組制作・放映及び動画配信本数	2	2	2	1
農家と飲食店等の交流会の実施回数	4	4	2	未定
地産地消関連マップ印刷	とれたてみどり緑区直売所マップ印刷部数	-	-	7,000
	地産地消みどりグルメガイドマップ印刷部数	-	7,000 (新規)	7,000
区民まつりにおける地産地消の取組啓発	地産地消に関するアンケート回答者数	214	240	250
	地場野菜の配布数	150	150	150
	地場野菜を使った試食品の提供数	300	300	300
地産地消みどりグルメスタンプラリーのスタンプ押印数 ※元年度は区配予算活用	-	948 (新規)	509	12月開催予定

<区内におけるよこはま地産地消サポート店登録数実績>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み
年度別登録数	3	1	0	4
合計登録数	10	13	14	18

2 みどり！魅力再発見事業

<緑区フォトコンテスト実施状況>

29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
応募件数 424件	休止 (今昔写真展の準備および開催)		オープンデータ化等 の基盤整備	フォトコンテスト 再開

<緑区遺産新規登録数>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み
年度別登録数	9	0	1	1
合計登録数	18	19	19	20

3 地域のつながり施設設置事業（28年度まで民有地における地域花壇・菜園設置モデル事業）

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み
27年度より施設を利用している地域団体（鴨居）	継続	継続	継続	継続
30年度より施設を利用している地域団体（三保）	-	新規	継続	継続

【実施内容】

1 とれたてみどり地産地消推進事業

- (1) 区庁舎直売所  
緑区庁舎内における直売所での地元農産物の販売、JAと共催での地場野菜の直売会の実施
- (2) 「農」魅力動画配信  
緑区の「農」や「地産地消」の取組をPRするための番組を制作・放映及び、緑区WEB等で動画配信
- (3) 飲食店における地産地消の促進  
「農」に関する情報発信、飲食店をめぐるスタンプラリー、飲食店と農家との交流会等の実施
- (4) 地産地消情報等発信  
広報よこはま緑区版での地産地消コラムの連載、緑区WEBや「とれたてみどり（緑区農情報）」Facebookページ等での情報発信
- (5) 地産地消講座  
区内の畑での収穫体験や地産地消の料理教室等の実施

2 みどり！魅力再発見事業

- (1) フォトアーカイブ事業  
区内の記録写真を撮影し、2次利用できるようにWebサイトに公開。あわせて緑区フォトコンテストを実施し、入賞・入選写真を2次利用できるようにWebサイトに公開。
- (2) 緑区遺産事業  
区内にある歴史的な地域資源として登録された「緑区遺産」の登録証を発行し、地域の活動団体等による保全活用を支援。新規に緑区遺産紹介冊子を発行。
- (3) ウォーキングマップを活用した地域資源の魅力発信事業  
区内をウォーキングする方に区内の歴史や直売所など、様々な地域資源を紹介することで、より楽しくウォーキングをしてもらうとともに、区の魅力を発信するため、長津田歴史探訪マップや鴨居駅周辺の魅力マップ、直売所マップ等で掲載している情報を取り入れてミドリウォーキングマップを改訂します。

3 地域のつながり施設設置事業

地域のつながりづくりに寄与する施設の設置を支援することで、地域のつながりづくりや郊外部のよりよいまちづくりを推進をしていきます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
とれたてみどり地産地消推進事業	2,803	2,730	73	「農」の魅力動画配信制作本数増加による増
みどり！魅力再発見事業	2,098	1,087	1,011	緑区フォトコンテストの実施と緑区遺産紹介冊子の発行、ミドリウォーキングマップ改訂による増
地域のつながり施設設置事業	247	247	0	
			0	
事業費合計	5,148	4,064	1,084	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整／広報相談 係
	山下 みや美	西森 正則 山下 育子	井上 史夏 宮内 寛子

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成27年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	みどり地域まちづくり推進事業
-----	----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
21	3

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,348					2,348
前年度	2,928					2,928
増△減	△ 580	0	0	0	0	△ 580

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	2,433	1,730	1,928
メリット+一般財源	2,433	1,730	1,928
決 算 事業費	1,749	1,526	2,342
メリット+一般財源	1,749	1,526	2,342

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	2,000	2,000
一般財源	2,000	2,000

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
(無)

事業の概要(目的)	平成26年12月に改定した「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、地域住民のまちづくり支援を実施します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>少子高齢化等を背景に、住民主体のまちづくりの機運が高まるとともに、まちづくり活動に対する区の支援がより一層求められていることから取組を継続的に実施していく必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」
3 根拠法令・要綱等	横浜市地域まちづくり推進条例、横浜市地域まちづくり支援制度要綱、緑区専門家派遣事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み	4年度見込み
住民主体のまちづくり支援	緑区プラン「緑区まちづくり計画」 区が主体的に支援するまちづくり団体数	6	6	6	6	6
	緑区専門家派遣事業	12	5	12	12	12
	団体系数	1	1	1	1	1
山下地域交流センター活用等検討	耐震診断調査		検討調査			
みどころ案内サイン改修	7基	7基	8基	8基	8基	8基

【実施内容】

- 住民主体のまちづくり支援  
平成26年12月に改定した横浜市都市計画マスタープラン緑区プラン「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、住民主体により行われている地域のまちづくりを、専門家派遣等により支援します。また、新たな地区での支援についても、地域の要請に応じ対応します。
- 山下地域交流センター活用等検討  
山下地域交流センター（戦中期の旧山下小学校分校木造校舎）について、施設活用や運営方法等の検討調査を行います。
- みどころ案内サイン改修  
既存のみどころ案内サインを点検し、必要に応じた改修を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
住民主体のまちづくり支援	1,048	2,748	△ 1,700	事業分割による委託料の減
山下地域交流センター活用等検討	1,000	0	1,000	事業分割による委託料の増
みどころ案内サイン改修	300	180	120	大型案内サイン改修数の増
事業費合計	2,348	2,928	△ 580	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	山下 みや美	高西 悠子	天井 健



予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	令和2年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	アートによる 緑区の魅力発信事業
-----	---------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書 番号	
事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,000					5,000
前年度	4,500					4,500
増△減	500	0	0	0	0	500

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	0	0	0
メリット+一般財源	0	0	0
決 算 事業費	0	0	0
メリット+一般財源	0	0	0

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	5,000	5,000
一般財源	5,000	5,000

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
(無)

事業の概要 (目的)	区制50周年を契機に、さらに魅力あふれるまちを目指し、次世代につながるまちづくりを進めるとともに地域の活性化を図るため、新たなアートイベントを実施し、緑区の新たな魅力を発信します。
---------------	--

(説明)																										
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民の地域への愛着や郷土愛を育むとともに、あらゆる世代がまちづくりに参加し、住み続けたいと思える緑区を目指すため、子どもたちや地域の新たな担い手をはじめとする次世代に向けた事業に取り組む必要があります。</li> <li>地域に埋もれてしまっていて広く区民に知られていない緑区の魅力について、区民と一緒に地域の記憶や記録を掘り起こし、区内外に広く発信することで、緑区だけではなく横浜市全体の財産として共有していく必要があります。</li> </ul>																									
地域の課題等の収集手段	8 その他																									
2 運営方針等との関係	令和2年度緑区運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」																									
3 根拠法令・要綱等																										
<b>【実績の推移・今後見込み】</b> 令和2年度：基本協定書の締結、アートイベントの企画、実施 令和3年度：アートイベントの継続実施（2年目） 令和4年度：アートイベントの継続実施（3年目）、次年度以降の検討  <b>【実施内容】</b> <b>■アートイベントの実施</b> 時期：令和3年9月～12月頃（1週間～1か月程度） 会場：恩田川・梅田川沿い（北八朔町、小山町、新治町、三保町、十日市場町ほか） 概要：緑区の豊かな自然や農を象徴する里山・田園風景が残る恩田川・梅田川沿いを軸として、持続可能な住宅地再生PJが進行している十日市場町等にもエリアを拡大し、アート作品の展示やパフォーマンス、ICT技術（VR等）等を活用した視覚的・直観的なアートによる魅力発信イベントを実施します。 また、場所と時間を選ばずにより多くの区民が参加できるオンライン開催を中心とします。  <b>【事業費の内訳】</b>																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アートによる緑区の魅力発信事業</td> <td>5,000</td> <td>4,500</td> <td>500</td> <td>イベント開催方法の変更による増</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>5,000</td> <td>4,500</td> <td>500</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	アートによる緑区の魅力発信事業	5,000	4,500	500	イベント開催方法の変更による増											事業費合計	5,000	4,500	500	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																						
アートによる緑区の魅力発信事業	5,000	4,500	500	イベント開催方法の変更による増																						
事業費合計	5,000	4,500	500																							
【根拠とするデータ等】																										

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	山下 みや美	西森 正則	田村 健太郎

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	水・緑環境保全	事業開始年度	令和2年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名 みどり環境行動啓発事業	特記事項	中期計画-38の政策	中期計画-38の政策	事業評価書番号
	中期計画-行政運営	中期計画-財政運営	重点事業	事業評価書番号
	新規・拡充	温暖化対策関連事業		

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	900					900
前年度	1,000					1,000
増△減	△ 100	0	0	0	0	△ 100

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費			1,000	予算	事業費	900	900
	メリット+一般財源			1,000		一般財源	900	900
決算	事業費				方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源				有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	緑区の豊かな自然を次の世代に引き継ぐため、「地球温暖化対策」や「生物多様性の保全」の視点を取り入れた啓発事業を実施します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	区民の地球温暖化対策等への関心を高め、緑区の豊かな自然を次世代に引き継ぐために、エコにつながる一人一人が身近な日常生活からできることについて考える機会を作る必要があります。
地域の課題等の収集手段	
2 運営方針等との関係	令和2年度緑区運営方針「みどりの魅力あふれるまち」
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

<過去の実績>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み
啓発イベント	-	-	-	生物多様性保全と地球温暖化対策に関する啓発講演会
ワンウェイ・プラスチック削減啓発	-	-	-	エコポイントラリー
スーパー等での店頭啓発 ※令和元年度まで別事業予算で実施	4件	4件	3件	3件

- 【実施内容】
- 地球温暖化対策に関する啓発イベント  
基調講演、NPO法人等と連携したミニ講座等を実施。
  - ワンウェイ・プラスチック削減に向けた啓発活動  
区内での「削減キャンペーン」の実施(パネル展)
  - スーパー等での店頭啓発(地域振興課と連携して実施)  
4回程度

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
啓発イベント	550	550	0	
ワンウェイ・プラスチック削減啓発	320	420	△ 100	エコポイントラリーを実施しないことによる減
温暖化対策などの店頭啓発	30	30	0	
			0	
			0	
事業費合計	900	1,000	△ 100	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 山下 みや美	係長 西森 正則	企画調整係 係 井上 史夏
--------------------	--------------	-------------	------------------

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成19年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	緑区商店街振興事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,169					3,169
前年度	2,810					2,810
増△減	359	0	0	0	0	359

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	500	500	1,308
メリット+一般財源	500	500	1,308
決算 事業費	679	801	650
メリット+一般財源	679	801	650

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	3,169	3,169
一般財源	3,169	3,169

方針に関する決裁 種別( )  
 有:件名( )、日付(年月)  
 無

事業の概要(目的)	消費者と商店街の顔の見える関係づくりを支援し、大型店にはない商店街ならではの魅力を地域の消費者に再発見してもらうことで集客力を高め、地元商店街の活性化につなげていくことを目的としています。
-----------	--

(説明)																															
1 地域の課題等	大規模店舗の進出や経営者の高齢化などにより地域商店は減少傾向にあり、区内では店舗数減少により平成24年に十日市場商店連合会が解散し、また平成29年度に十日市場大通り商店会が解散するなどの状況があります。その中で大規模店舗にはない、区内7商店街が持つ地域に根ざしたきめ細やかなサービスやこだわりの商品を広く消費者に伝え、消費者が地元商店街に足を運んで商店街の魅力を再認識してもらう事への支援が求められています。																														
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望																														
2 運営方針等との関係	令和2年度緑区運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」																														
3 根拠法令・要綱等	横浜市商店街の活性化に関する条例																														
【実績の推移・今後見込み】 商店街ポイントラリー																															
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>平成29年度実績</th> <th>平成30年度実績</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度見込み</th> </tr> <tr> <td>第1回</td> <td>141人</td> <td rowspan="2">287人</td> <td rowspan="2">136人</td> <td rowspan="2">コロナにより中止</td> <td rowspan="2">180人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>157人</td> </tr> </table>		平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度	令和3年度見込み	第1回	141人	287人	136人	コロナにより中止	180人	第2回	157人																
	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度	令和3年度見込み																										
第1回	141人	287人	136人	コロナにより中止	180人																										
第2回	157人																														
【実施内容】																															
1 商店街ポイントラリー： 消費者が直接区内の商店街を巡り買い物をすることで地元商店街の魅力を「再発見」してもらい、また、新たな消費者を呼び込み、地元商店街の活性化につなげていくことを目的として、区役所と区内商店街が一体となって「緑区商店街ポイントラリー」を開催します。各店舗向けにのぼりやフラッグ等の配付や子供向けの参加賞設定等を行い、啓発を行います。																															
2 商店街Special Week： 区内7商店街にキャッチコピーと魅力ある写真をちりばめたポスターを制作し、区役所、駅等公共スペースに掲出し、PRします。3か月ごとに各商店街を紹介し、掲出期間の広報よこはま緑区版や新聞等にコラム記事を掲載します。(2年間で7商店街を一巡：令和2年度3商店街、令和3年度4商店街)																															
	<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>緑区商店街ポイントラリー</td> <td>1,317</td> <td>1,421</td> <td>△ 104</td> <td></td> </tr> <tr> <td>商店街Special Week</td> <td>1,852</td> <td>1,389</td> <td>463</td> <td>昨年度は3つの商店街を紹介し、今年度は4つの商店街を紹介するため1商店街分が増加。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>3,169</td> <td>2,810</td> <td>359</td> <td></td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	緑区商店街ポイントラリー	1,317	1,421	△ 104		商店街Special Week	1,852	1,389	463	昨年度は3つの商店街を紹介し、今年度は4つの商店街を紹介するため1商店街分が増加。				0					0		事業費合計	3,169	2,810	359	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																											
緑区商店街ポイントラリー	1,317	1,421	△ 104																												
商店街Special Week	1,852	1,389	463	昨年度は3つの商店街を紹介し、今年度は4つの商店街を紹介するため1商店街分が増加。																											
			0																												
			0																												
事業費合計	3,169	2,810	359																												
【根拠とするデータ等】																															

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩岡 敏文	係長 河合 利充	地域活動係 中村 友樹
--------------------	-------------	-------------	----------------

[ 緑 区 土木事務所 課 ]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	土木関係・公園	事業開始年度	令和2年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名
花と緑あふれるふるさと緑区事業

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,000					5,000
前年度	2,500					2,500
増△減	2,500	0	0	0	0	2,500

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費			
決算 事業費			
予算 メリット+一般財源			
決算 メリット+一般財源			

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	6,000	7,000
決算 一般財源	6,000	7,000

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	緑区制50周年を記念して実施したふるさと緑区植樹事業を継承し、道路や公園などの緑化を進めるとともに、区民を対象とした花苗講座を開催することにより緑に対する意識を高め、花と緑あふれるまちづくりを目指します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

・ハマサボ等の活動によって植樹樹への花植えが活発に行われていますが、局所的な活動に留まっています。このような活動を区全体に展開して花と緑あふれるまちづくりを盛り上げることが求められています。  
 ・腐朽や老木化に伴う街路樹の伐採後、空樹となっている箇所が多く存在しており、補植等の要望が寄せられています。  
 ・公園愛護会やハマロードサポーターは、高齢化や担い手不足等によって花壇を十分に手入れすることができない状況にある。さらに、公共空間に花植えをしたいという意欲ある住民がいるものの、どうして良いかわからないという状況です。市民ボランティアの活性化と園芸技術の向上、区民が自ら花植えを行っていく環境造りが求められている。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	7 関係団体からの要望
-------------	------------	------	-------------

2 運営方針等との関係

みどりの魅力あふれるまち

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】

- 令和2年度 街路樹現況調査の実施(空樹の調査、区民要望の把握・整理、補植計画の検討) 「花と緑のサポーター養成講座」の実施(全6回、2グループ)
- 令和3年度～ 空樹の補植の実施 「花と緑のサポーター養成講座」の実施(全6回、初級編と上級編)

【実施内容】

- 植樹樹の状況(空樹の状況など)や地域要望をまとめた結果を踏まえて、ハマサボ等と連携して空樹を中心に積極的に植樹を行っていき、地域に親しまれる緑化を推進していきます。
- 「花と緑のサポーター養成講座」について初級編と上級編を開催して指導者の育成と互いに教え合う関係を造って縦の連携構築を図ります。また、自治会などに参加を呼び掛けて横の連携拡大を図って裾野を広げて行きます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
街路樹調査(空樹調査)	0	940	△ 940	調査は前年度に完了
街路樹補植事業	2,000	0	2,000	補植事業開始
花と緑のサポーター養成講座	2,000	1,200	800	上級編実施による増
講座備品購入	500	360	140	上級編実施による増
テキスト作成・印刷	500	0	500	テキスト作成による増
		0	0	
事業費合計	5,000	2,500	2,500	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 川崎 哲治	係長 岩峪 輝 谷口 丞	道路、下水道・公園 係 藤原 竜斗 渡辺 翔太
--------------------	-------------	--------------------	-------------------------------

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	土木関係・公園	事業開始年度	令和2年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業
-----	------------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,600					4,600
前年度	5,000					5,000
増△減	△ 400	0	0	0	0	△ 400

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費			
メリット+一般財源			
決 算 事業費			
メリット+一般財源			

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	3,500	2,500
一般財源	3,500	2,500

方針に関する決裁 種別( )  
 有:件名( )、日付( 年 月 )  
 無

事業の概要 (目的)	豊かな自然が残る梅田川等において、市民団体等と連携して在来種の保全を行いながら生物多様性に配慮した施策を展開し、区民の環境保全の意識を高め、再発見した緑区の魅力を内外に発信します。
------------	--

(説明)																																									
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅田川は河道等安全確保対策事業等によって治水対策が進められている中で住民の環境に対する意識低下が懸念されている。</li> <li>・流域では、ホトケドジョウ等の在来種が確認されるなど水辺環境が改善してきている一方、梅田川遊水地等でコイやウシガエル等の外来種が確認されており、生態系への悪影響が懸念されています。</li> <li>・流域の自然は、水辺愛護会やボランティア団体によって守られてきたが、高齢化による担い手不足が深刻化しています。区民の環境への意識を高めて愛護会・ボランティア団体の連携を強化して活性化を図ることが求められています。</li> </ul>																																								
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等    2 陳情    7 関係団体からの要望																																								
2 運営方針等との関係	区運営方針 みどりの魅力あふれるまち																																								
3 根拠法令・要綱等																																									
【実績の推移・今後見込み】																																									
令和2年度 ・多様な組織・団体の連携づくり及び「かいぼり」、生き物観察会の企画（委託） ・「かいぼり」の実施（梅田川遊水地、12月） 令和3年度 ・多様な組織・団体の連携づくり ・生き物観察会の実施（4回程度）、情報発信手法の試行・検討、リーフレット（案）の作成 令和4年度 ・リーフレットの作成・配布																																									
【実施内容】																																									
令和3年度は、令和2年度に引き続いて多様な組織・団体（ボランティア団体（梅田川水辺の楽校、新治市民の森など）、小学校、有識者、行政機関など）との座談会やワークショップを行って連携づくりを進める他、生き物観察会（4回）、リーフレット（案）の作成、情報発信手法の検討・試行を進めて緑区の魅力再発見と情報発信に取り組みます。																																									
【事業費の内訳】																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連携づくり</td> <td>2,000</td> <td>3,500</td> <td>△ 1,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生き物観察会</td> <td>1,600</td> <td>0</td> <td>1,600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リーフレット（案）の作成</td> <td>500</td> <td>0</td> <td>500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報発信手法の検討・試行</td> <td>500</td> <td>0</td> <td>500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「かいぼり」の実施</td> <td>0</td> <td>1,500</td> <td>△ 1,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>4,600</td> <td>5,000</td> <td>△ 400</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	連携づくり	2,000	3,500	△ 1,500		生き物観察会	1,600	0	1,600		リーフレット（案）の作成	500	0	500		情報発信手法の検討・試行	500	0	500		「かいぼり」の実施	0	1,500	△ 1,500					0		事業費合計	4,600	5,000	△ 400		
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																																					
連携づくり	2,000	3,500	△ 1,500																																						
生き物観察会	1,600	0	1,600																																						
リーフレット（案）の作成	500	0	500																																						
情報発信手法の検討・試行	500	0	500																																						
「かいぼり」の実施	0	1,500	△ 1,500																																						
			0																																						
事業費合計	4,600	5,000	△ 400																																						
【根拠とするデータ等】																																									

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 川崎 哲治	係長 谷口 丞	下水道・公園 係 長谷川 堯弘
--------------------	-------------	------------	--------------------

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

No. 10

[ 緑 区 地域振興 課 ]

Table with 5 columns: 予算区分 (地域コミュニティ費), 性質・課題区分 (環境美化), 事業開始年度 (平成20年度)

事業名: 3R推進事業

特記事項: 中期計画-38の政策, 行政運営, 財政運営, 重点事業, 新規・拡充, 温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策: 政策番号, 主な施策番号

事業評価書番号

(単位: 千円)

Table with 6 columns: 区分, 金額, 財源内訳 (国・県, 諸収入), 一般財源. Rows for 本年度, 前年度, 増△減.

Table with 4 columns: 歳出 (事業費, メリット+一般財源) for 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度.

Table with 3 columns: 歳出 (事業費, 一般財源) for 令和4年度, 令和5年度. Includes 方針に関する決裁 種別.

事業の概要 (目的): 横浜市一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ3R夢プラン」に基づく3R行動の普及・浸透に向け、地域住民との協働や関係部署との連携を通じた取組を行うことで、ごみと資源の削減を図ります。

(説明)

- 1 地域の課題等: 平成23年1月に策定された「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、啓発等の取組を行った結果、ごみと資源の総量は減少傾向にありますが、区民から排出される燃やすごみの中には、生ごみの割合が高いほか、資源化可能な古紙やプラスチック製容器包装などがいまだに多く含まれています。このことから、生ごみ、古紙、プラスチック類の削減により一層努める必要があります。特にリデュースの一環として重点に取り組んでいる生ごみの中の「手つかず食品」をはじめとする食品ロスの削減に力を入れるとともに、2年度より新たに重点課題として取り組んでいるプラスチック問題について周知する必要があります。
2 運営方針等との関係: 令和2年度緑区運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」における「環境行動の推進」
3 根拠法令・要綱等: 廃棄物の適正な処理及び清掃に関する法律, 緑区リユース食器利用促進補助事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

1 みどり環境行動推進協議会の運営□ごみと資源の総量の年度別推移□

ごみと資源の総量の年度別推移

Table with 8 columns: 25年度, 26年度, 27年度, 28年度, 29年度, 30年度, 元年度. Rows for 総量, 燃やすごみ, その他.

(2) 原単位 単位: グラム/(人・日)

Table with 9 columns: 25年度, 26年度, 27年度, 28年度, 29年度, 30年度, 元年度, 2年度目標. Rows for 総量, 燃やすごみ, その他.

2 3Rの普及・啓発

(1) 保育園・幼稚園10回及び小・中学校2回の「出前講座」実施

(2) 大型商業施設等における店頭啓発実績

元年度

月日	場所	参加人数	備考
6月11日	マルエツ長津田	220人	区政推進課と合同実施
6月20日	ダイエー鴨居	250人	区政推進課と合同実施
8月6日	アピタ長津田	250人	区政推進課と合同実施

新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえながら、実施を検討します。

(3) 各種イベントや地域まつり等での啓発活動（実績）

元年度

月日	場所	参加人数	月日	場所	参加人数
5月12日	グリーンフェスタin八朔	210人	10月27日	白山地区センターまつり	117人
6月2日	中山スポーツフェスタ	300人	11月3日	長津田まつり	210人
6月3日	衣類のリユース	227人	11月4日	みどりっこ祭り	110人
7月26日	鴨居納涼盆踊り大会	45人	11月9日	すぎのこまつり	132人
8月1日	食中毒防止キャンペーン	200人	11月16日	みどりっこ祭り	222人
8月3日	御前田納涼夏祭り	350人	11月5日	鴨居まつり	50人
10月14日	長津田ふれあいまつり	147人			

新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえながら、実施を検討します。

(4) 区独自の広報印刷物の印刷

- ・緑区版「ごみと資源の出し方・分け方」の印刷
- ・ごみと資源の収集曜日一覧の印刷
- 区役所窓口及び資源循環局緑事務所に配架、戸籍課転入者セットに同封

(5) 外国人への啓発

- ・広報印刷物の外国語翻訳
- 緑区版「ごみと資源の分け方・出し方」（英語・中国語・ハングル・ポルトガル語）
- ごみと資源の収集曜日一覧（英語、中国語、ハングル、スペイン語、ポルトガル語）
- （参考）緑区における外国人人口（2年3月末現在：緑区上位10か国）

	総数	中国	インド	フィリピン	ベトナム	韓国・朝鮮	ブラジル	インドネシア	タイ	ミャンマー	台湾	その他
緑区	4,350	1,106	1,083	436	346	335	154	142	74	70	58	546
横浜市	105,288	41,887	3,169	8,620	9,114	12,874	2,775	1,524	1,691	665	2,888	20,081
比率	4.1	2.6	34.2	5.1	3.8	2.6	5.5	9.3	4.4	10.5	2.0	2.7

(6) 自治会の回覧や広報区版などを活用した啓発

- ・広報よこはま3R特集記事
- ・衣類のリユースチラシの自治会班回覧

(7) 不用品交換ボード「ゆずります・ゆずってください」の利用実績

項目	30年度	元年度	2年度（8月末）
ゆずります	97件(57件譲渡)	155件(61件譲渡)	20件(8件譲渡)
ゆずってください	19件(7件譲渡)	27件(8件譲渡)	4件(0件譲渡)

(8) 衣類のリユース実施実績

30年度			元年度			2年度		
月日	対象衣類	参加人数	月日	対象衣類	参加人数	月日	対象衣類	参加人数
6月2日	子供服	271人	6月1日	子供服	316人	6月6日	子供服	中止
11月17日	子供服	304人	11月30日	子供服	319人	11月21日	子供服	検討中

【実施内容】

1 みどり環境行動推進協議会の運営

総会の実施、みどり環境行動推進者表彰（5月）

2 3Rの普及・啓発

- (1) 小中学校・保育園等への出前講座の開催（通年）
- (2) 店頭キャンペーン（年4回）
- (3) 各種イベントや地域のまつり等での啓発（通年）
- (4) 自治会の回覧や広報区版などを活用した啓発（通年）  
緑ECO通信を年2回班回覧
- (5) 不用品交換ボード「ゆずります・ゆずってください」の運営・管理（通年）
- (6) フードドライブの推進  
区役所等で集めた食品等を、区内の必要とする方へ提供するシステムの構築を行う

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
みどり環境行動推進協議会の運営	148	137	11	記念品見直しによる増
3Rの普及・啓発	2,110	1,950	160	プラスチック削減啓発品の購入増、フードドライブ実施に伴う消耗品等の購入
リユース食器の利用促進	0	60	△ 60	事業開始から10年以上経過し、地域住民や団体においてリユース食器への意識が浸透していると思われるため、今年度をもって事業を終了
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,258	2,147	111	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	高橋 英明	大山 敏彦	葉山 友裕



[ 緑 区 地域振興 課 ]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成20年度
------	-----------	---------	------	--------	--------

事業名
きれいなまちづくり事業

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,498					2,498
前年度	2,318					2,318
増△減	180	0	0	0	0	180

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算	事業費	4,570	2,572	2,151
	メリット+一般財源	4,570	2,572	2,151
決算	事業費	4,539	2,463	2,434
	メリット+一般財源	4,539	2,463	2,434

歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,318	2,318
	一般財源	2,318	2,318

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	不法投棄、空き缶及び吸殻等の散乱(ポイ捨て)を防止し、地域住民と協働して清潔できれいなまちづくりを推進するため、沿道緑化、ポイ捨て禁止キャンペーンの実施及び清掃活動支援等を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

地域と協働で清掃活動や沿道緑化等の取組を引き続き行い、ごみを捨てにくい環境を整備していく必要があります。不法投棄やポイ捨てについて様々な啓発を行っているものの、依然として後を絶たず、違法行為でもあるため、関係行政機関とも連携し、監視及び防止に向けた取組を進めていく必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
-------------	------------

2 運営方針等との関係 令和2年度緑区運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」における「環境行動推進」

3 根拠法令・要綱等 横浜市空き缶等及び吸殻等の散乱の防止に関する条例  
横浜市廃棄物等の減量化・資源化及び適正処理等に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

(1) 花いっぱい活動事業

(単位：株)

	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	6月	11月	6月	11月予定	6月	11月予定
霧が丘連合自治会	2,000	2,000	2,000	2,000	0	2,000
中山中学校区	1,700	1,700	1,700	1,700	0	1,700
新治中部地区環境事業推進委員	250	250	250	250	0	250
白山グリーンクラブ	500	500	500	500	0	500
十日市場団地連合自治会	1,000	1,000	1,000	1,000	0	1,000
新治西部地区環境事業推進委員	100	100	100	100	0	100
竹山連合自治会	1,000	1,000	1,000	1,000	0	1,000
小計	6,550	6,550	6,550	6,550	0	6,550
合計	13,100	13,100	13,100	13,100	6,550	

6月は新型コロナウイルス対応により、配布を中止

(2) 地域ふれあい活動事業

ア 活動実績

	不法投棄処理実績		地域清掃処理実績		
	実施回数	処理量(トン)	実施回数	処理量(t)	袋配布数
30年度	275	13.13	1,241	256.1	26,050
元年度	600	6.55	1,349	286.0	25,540

イ 夜間監視パトロール実施地区(パトロールに係る委託費は局で執行)

資源循環局予算対応(2日間)  
長津田町(北部斎場付近) 6月  
北八朔町2191番地先 6月

- ウ 不法投棄監視装置の設置  
 ①いぶき野農業専用地区（いぶき野83先）  
 ②北八朔農業専用地区（北八朔町218-9）  
 ③北八朔農業専用地区（北八朔町222-14先）  
 ④長津田台農業専用地区（長津田町5216-3）

(3) 駅さわやか活動事業

ア 庁舎周辺早朝清掃・中山駅周辺早朝清掃

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30年度	○	中山駅	○	○	-	○	○	中山駅	-	○	○	○
元年度	×	中山駅	×	○	-	○	×	○	-	○	○	○
2年度	×	×	○	×	-				-			

イ ポイ捨て禁止キャンペーンの開催実績

30年度	5月25日	6月27日	6月28日	6月29日	11月30日	11月19日
	中山駅	長津田駅	鴨居駅	十日市場駅	中山駅	十日市場駅 局と合同実施
元年度	5月24日	6月26日	6月27日	6月28日	11月22日	11月18日
	中山駅	長津田駅	鴨居駅	十日市場駅	中山駅	十日市場駅 雨天により中止
2年度	6月24日	6月25日	6月26日	11月（予定）		
	長津田駅 (中止)	鴨居駅 (中止)	十日市場駅 (中止)	十日市場駅 局と合同実施		

新型コロナウイルス対応により、開催中止

【実施内容】

1 花いっぱい活動

地域住民により春と秋の年2回花苗を植栽し、ポイ捨てされにくい清潔できれいな街づくりを推進しています。

- ・対象者 植栽の維持管理を行う団体に所属する地域住民（小・中学生を含む）

2 地域ふれあい活動

(1) 清掃活動の支援

年間を通じ、定期的に清掃活動を実施している自治会等の団体に対して清掃用品等を提供し、支援していきます。

- ・対象者 区内において清掃活動を実施している自治会等の団体

(2) 不法投棄対策

区民や関係機関からの通報や夜間監視パトロールの情報による、不法投棄の防止対策と処理を行います。  
 不法投棄の件数が年々増加していることから、土木事務所や資源循環局事務所及び警察等の連携を強化するため、不法投棄対策連絡会議（仮称）を開催し情報交換や対策の検討を行う。

3 駅さわやか活動

(1) 中山駅周辺早朝清掃

中山駅周辺において、春と秋に地域住民と地域事業者による啓発を含めた清掃活動を行います。

(2) 駅周辺におけるポイ捨て禁止キャンペーンの開催

緑区内のJR4駅周辺で地域住民と地域事業者によるポイ捨て防止に向けた啓発活動を行います。

(3) イベントを活用した駅周辺の清掃活動

十日市場駅周辺（予定）において、冬に若い世代を中心として地域住民と清掃活動を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
花いっぱい活動	1,320	1,430	△ 110	単価見直しによる減
地域ふれあい活動	560	495	65	フェイスマスク、ゴム手袋購入による増
ポイ捨て禁止キャンペーン	618	393	225	記念品見直し、啓発物品の新規購入
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,498	2,318	180	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	高橋 英明	大山 敏彦	葉山 友裕

[ 緑 区 地域振興 課 ]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	区民まつり事業
-----	---------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,600					5,600
前年度	5,400					5,400
増△減	200	0	0	0	0	200

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 事業費	4,900	4,900	5,400
メ リ ッ ト + 一 般 財 源	4,900	4,900	5,400
決 事業費	4,900	4,900	5,400
算 メ リ ッ ト + 一 般 財 源	4,900	4,900	5,400

歳出	令和4年度	令和5年度
予 事業費	5,600	5,600
算 一般財源	5,600	5,600

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
(無)

事業の概要(目的)	平成6年度、緑区内各地で行われている「祭り」を区全体で一本化し、区の取組や区内で活動する団体のPRの場としてスタートし、この間、区民相互の交流の場として、区民のふるさと意識を醸成することを目的としています。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

平成6年度に区民まつりが実施され、緑区最大のイベントとして区民に定着しています。また、各種団体関係者の参画が多く得られ、来場者にも好評を得ています。

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート
-------------	-----------

2 運営方針等との関係

3 根拠法令・要綱等 緑区民まつり補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】  
開催日：令和3年10月17日(日) (予定)  
会 場：県立四季の森公園  
主 催：緑区民まつり実行委員会  
※開催可否については新型コロナウイルスの感染状況等を基に慎重に判断いたします。

【実施内容】  
令和3年度実施予定内容  
(1) 区民参加によるステージイベント、展示PR、模擬店、こども動物園等  
(2) 「健康づくり月間」事業の一部として、区民まつり会場内に「健康づくりエリア」を設けて、健康に関する診断、展示等  
(3) 環境に配慮した取り組み・推進  
<令和元年度実績> (令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止となりました)  
・来場者数 約28,000人  
・ステージ出演 13団体 (内訳：各地区連合推薦10団体、主催者枠3団体)  
・出店 68団体 (内訳：出店60団体、サブイベント8団体)

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区民まつり実行委員会補助金	4,900	4,900	0	
ポスター・リーフレットの作成	500	500	0	
新型コロナウイルス対策	200	0	200	手洗い場の増設等
			0	
			0	
			0	
事業費合計	5,600	5,400	200	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩岡 敏文	係長 河合 利充	地域活動係 松山 利幸
--------------------	-------------	-------------	----------------

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	地域振興事業
-----	--------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,189					2,189
前年度	2,189					2,189
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,935	1,935	1,935	予算	事業費	2,189	2,189
	メリット+一般財源	1,935	1,935	1,935		一般財源	2,189	2,189
決算	事業費	1,918	1,943	1,360	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	1,918	1,943	1,360	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	市及び区の取組に理解、協力をいただいている自治会の会長に対し敬意を表するために感謝会を開催するとともに、自治会活動の支援を行い、日頃から地域との良好な関係を構築します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	自治会は、市・区政の運営に大きく貢献しており、地域においても住民相互の親睦や環境の整備などの活動を通して、良好な地域社会の維持・形成に大きな役割を担っています。こうした自治会活動の担い手不足、自治会加入者の減少が課題です。(現在の自治会加入率は72.2%(令和2年4月1日現在))
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	自治会との良好な関係づくりは、令和2年度緑区運営方針「安全・安心なまち」「いきいきと暮らせるまち」「みどりの魅力あふれるまち」の土台となるものです。
3 根拠法令・要綱等	自治会町内会長永年在職者表彰要綱 自治会町内会に対する依頼業務の取り扱いについて(H17.4.1副市長依命通達) 横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支えあう社会の構築を促進する条例(H23.3)

【実績の推移・今後見込み】  
 これまでの災害を教訓として、地域のネットワーク力の重要性が見直されており、自治会活動への関心が高まっています。「横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支えあう社会の構築を促進する条例」が制定され、市民が主体的に行う地域活動を促進することで、地域で支えあう社会の構築を促進することが求められています。

【実施内容】  
 1 感謝会の開催  
 自治会長(地区連自治会長)永年在職者を顕彰します。在職5年の会長に区長から感謝状を贈呈します。  
 ※在職10年以上の表彰については、市長主催(市民局事業)で表彰式を開催します。  
 (参考 5年区長感謝4名、10年市長感謝3名、15年市長表彰1名、20年市長表彰1名、30年市長表彰(連自治会)1名)  
 2 回覧物等配送業務  
 市・区から自治会に回覧等を依頼するにあたり、地域の負担を軽減するため月ごとに取りまとめ、送付します。  
 123自治会×11か月(8月は送付なし)  
 3 自治会加入促進の支援  
 自治会加入に向けたこれまでの画一的な支援だけではなく、その地域の実情に合わせた加入促進を自治会と連携し進めていきます。また、不動産関連団体加盟店舗に加入促進への協力を依頼します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
感謝会の開催	1,073	1,076	△3	表彰人数の減
回覧物等配送業務	950	970	△20	契約実績による減
自治会加入促進の支援	166	143	23	チラシ印刷枚数の増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,189	2,189	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩岡 敏文	河合 利充	武田 雄美

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成18年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名	災害に強いまちづくり事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
34	1、3
35	1～6

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,867					7,867
前年度	7,567					7,567
増△減	300	0	0	0	0	300

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	7,400	7,587	7,410
メリット+一般財源	7,400	7,587	7,410
決 算 事業費	7,767	7,567	6,926
メリット+一般財源	7,767	7,567	6,926

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	7,567	7,567
一般財源	7,567	7,567

方針に関する決裁 種別( )  
 有:件名( )、日付(年月)  
 無

事業の概要(目的)	避難場所における感染症対策を充実させます。防災ネットワークや関係機関との連携強化、啓発・研修等を通じて、災害に強いまちづくりを区民と協働して推進します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>1 東日本大震災や熊本地震及び、近年の豪雨災害の発生に伴う課題や緑区防災計画の修正を踏まえ、緑区災害対策本部の機能を強化する必要があります。</p> <p>2 災害発生時に円滑な応急活動を実施していくには、防災関係機関との連携を強化していく必要があります。</p> <p>3 地域防災力の向上を図る上で核となる小中学生への継続的な啓発を、学校と協力して実施します。</p> <p>4 災害時に避難した要援護者を支援する物資について、各拠点ごとの差が大きい現状があり、改善する必要があります。</p>
----------	--

地域の課題等の収集手段	4 地区懇談会	6 区民要望		
-------------	---------	--------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度緑区運営方針「1 安全・安心なまち」
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	災害対策基本法、横浜市防災計画「震災対策編」、「風水害等対策編」、緑区防災計画
------------	---

【実績の推移・今後見込み】					協定関係 H27. 5 創価学会緑文化会館施設の一時避難所使用 H28. 2 トーエル 災害時における必要物資等の提供 H31. 2 みどり養護学校 福祉避難所
事業名	H29	H30	R01	R02	
地域防災拠点参加者数	6,400	6,829	6,340	500	
防災講演会参加者数	300	380	中止	中止	
地図ワークショップ啓発人数	820	644	563	600	

【実施内容】	<p>1 区本部機能強化事業</p> <p>(1)災害時に円滑に行動できるよう、コロナ対策を踏まえ、区職員を対象に防災研修会と区本部訓練を実施します。</p> <p>(2)区職員に対する普通救命講習を実施し、緊急時における応急救護体制を確保します。</p> <p>(3)発災時、長時間の災害対策本部体制を確保するための資機材を購入し計画的な備蓄を実施します。</p> <p>(4)避難勧告等に速やかに対応できるよう、指定緊急避難場所への持ち出し品等の物品を拡充します。</p> <p>(5)職員向け研修について、YCAN上の動画を活用する等、集合研修によらない研修方法の導入を検討します。</p> <p>2 地域防災拠点等強化事業</p> <p>(1)災害時要援護者の受入れに必要な備蓄品の購入</p> <p>(2)地域防災拠点の備蓄品の在庫点検や資機材の保守点検を年2回行い、必要に応じて修繕を行います。</p> <p>(3)資機材取扱講習を実施します。</p> <p>(4)鉄道機関や帰宅困難者一時滞在施設と連携し、区役所等防災関係機関との情報共有を図るため実施します。</p> <p>(5)地域防災拠点における新型コロナウイルス感染予防対策として、運営委員を対象とした研修を実施します。</p> <p>3 防災ネットワーク事業</p> <p>(1)緑区防災ネットワーク委員会を開催します。</p> <p>(2)区民の危機管理意識の高揚を図るため、防災講演会を開催します。 講演会の開催にあたっては、コロナ禍でも多くの方が聴講できる方法を検討します。</p> <p>(3)防災ライセンスネットワーク会員との連絡会を実施し、併せて防災備蓄庫資機材取扱要領を確認します。</p> <p>(4)防災ライセンスネットワーク会員に対する救命講習を実施し、地域防災拠点での応急救護体制や訓練指導體制を確保します。</p> <p>(5)緑区社会福祉協議会が実施する、災害ボランティアネットワーク会員に対する研修や訓練を支援します。</p>
--------	--

- 4 減災行動啓発事業
- (1) 自治会などにマイタイムライン等を活用した減災行動の啓発や、コロナ禍での在宅避難・避難場所以外への避難啓発を行います。
- (2) 将来の地域防災活動の担い手として期待される小学生向けに、区役所の災害対策をまとめたDVDを学校と連携して作成します。また、地図システムにより生活圏を抽出した地図を作成し、それを活用したワークショップ（減災マップ作り）を開催します。
- (3) 区内の小・中学校低学年を対象に、防災意識へ興味を持つ入口として、出前防災講話を実施します。
- (4) 区民まつりにブースを出店し、来場した区民に対し防災・減災意識の向上啓発事業を実施します。
- 5 災害医療活動対策事業（福祉保健課）
- (1) 医療関係者等を講師として招へいし、災害時医療の実践的な研修、訓練を行います。  
また、医療救護隊の体制を整備します。
- (2) 保健活動グループについて、平常時から啓発媒体等を準備するとともに、災害時の拠点巡回、保健福祉的トリアージ訓練を実施します。
- 6 霧の里防犯防災活動センター運営費
- 7 区民防災マップの増刷  
防災情報の集約化により、配布要望の増加が見込まれるため、必要数を増刷します。
- 8 新型コロナウイルス感染症対策事業  
避難場所・避難所での新型コロナウイルス感染症対策として、マスク等の衛生用品及び間仕切りテントを購入します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区本部機能強化事業	1,198	1,655	△ 457	タブレット整備完了による減
地域防災拠点等強化事業	2,766	2,084	682	要援護者事業統合による増
防災ネットワーク事業	580	527	53	
減災行動啓発事業	562	532	30	
緑区防災計画の改正	200	200	0	
災害時要援護者支援事業補助金事業	0	400	△ 400	拠点等強化事業に統合
災害医療活動対策事業	1,033	1,033	0	
霧の里防犯防災活動センター運営費	128	136	△ 8	
体感型防災アトラクション事業	0	1,000	△ 1,000	単年度事業による減
区民防災マップの増刷	300	0	300	新規事業
新型コロナウイルス感染症対策事業	1,100	0	1,100	新規事業
事業費合計	7,867	7,567	300	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	山田 源太	笠羽 一博	大谷 潤三郎

[ 緑 区 地域振興 課 ]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防犯	事業開始年度	平成16年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名	安全・安心まちづくり推進事業
-----	----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	33
主な施策番号	5

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,820	0	0			1,820
前年度	1,967	0	0			1,967
増△減	△ 147	0	0	0	0	△ 147

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	1,450	1,430	1,760
メリット+一般財源	1,450	1,430	1,760
決 算 事業費	1,535	1,426	1,563
メリット+一般財源	1,535	1,426	1,563

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	1,820	1,820
一般財源	1,820	1,820

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要 (目的)	緑区を安全で安心して暮らせる街にするため、区内関係団体で組織する「緑区安全・安心まちづくり推進協議会」を運営し、地域で自主的な防犯活動に取り組む自治会等の活動を支援します。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等	防犯に関する地域の関心は高く、住みやすいまち・犯罪のないまちを目指して、警察等関係機関との連携のもと、自治会による自主的な防犯パトロール活動等を支援する必要があります。また、近年継続して発生し、社会的関心も高まっている特殊詐欺(いわゆる「振り込め詐欺」)の被害に対策を講じる必要があります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度緑区運営方針「1 安全・安心なまち」
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	緑区安全・安心まちづくり推進協議会会則 緑区安全・安心まちづくり推進協議会活動助成金交付要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】	<防犯グッズ提供実績 団体数・提供数(延べ数)>	<緑区における振り込め詐欺発生状況>																		
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>団体数</th> <th>個数</th> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>121団体</td> <td>1,970個</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>130団体</td> <td>1,811個</td> </tr> </table>		団体数	個数	平成30年度	121団体	1,970個	令和元年度	130団体	1,811個	<table border="1"> <tr> <th>緑区</th> <th>発生件数</th> <th>被害金額</th> </tr> <tr> <td>令和2年(1~8月)</td> <td>20件</td> <td>約4,314万円</td> </tr> <tr> <td>前年同期比</td> <td>25件減</td> <td>約204万円減</td> </tr> </table>	緑区	発生件数	被害金額	令和2年(1~8月)	20件	約4,314万円	前年同期比	25件減	約204万円減
	団体数	個数																		
平成30年度	121団体	1,970個																		
令和元年度	130団体	1,811個																		
緑区	発生件数	被害金額																		
令和2年(1~8月)	20件	約4,314万円																		
前年同期比	25件減	約204万円減																		

【実施内容】	<ol style="list-style-type: none"> <li>緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営(防犯グッズの配布等)</li> <li>振り込め詐欺被害防止(対策機器の配布)</li> <li>情報提供・啓発の充実(緑区防犯情報メール、緑区・振り込め詐欺被害防止情報発信拠点)</li> </ol>
--------	---

【事業費の内訳】	<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営</td> <td>1,320</td> <td>1,320</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振り込め詐欺被害防止</td> <td>500</td> <td>647</td> <td>△ 147</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>1,820</td> <td>1,967</td> <td>△ 147</td> <td></td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営	1,320	1,320	0		振り込め詐欺被害防止	500	647	△ 147		事業費合計	1,820	1,967	△ 147	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																	
緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営	1,320	1,320	0																		
振り込め詐欺被害防止	500	647	△ 147																		
事業費合計	1,820	1,967	△ 147																		

【根拠とするデータ等】  
令和元年度横浜市民意識調査  
今後、充実すべき公共サービス 【防犯対策】 44項目中3位

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩岡 敏文	係長 山村 太郎	生涯学習支援 係 荻野 裕子
--------------------	----------	----------	----------------

Table with columns: 予算区分 (防犯・防災・安全対策費), 性質・課題区分 (交通安全), 事業開始年度 (平成6年度), 事業名 (交通安全対策事業), 特記事項 (中期計画-38の政策, etc.), 中期計画-38の政策 (政策番号, 主な施策番号), 事業評価書番号

(単位：千円)

Table with columns: 区分, 金額, 財源内訳 (国・県, 諸収入), 一般財源. Rows for 本年度, 前年度, 増△減.

Table with columns: 歳出, 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 令和4年度, 令和5年度. Rows for 事業費, メリット+一般財源.

事業の概要 (目的) 交通事故のない安全で安心な住みよいまちを目指すため、年間を通して広く交通安全に向けた啓発活動を実施します。

(説明)

1 地域の課題等
区内の交通事故は減少傾向にあるものの、引き続き緑警察署・緑交通安全協会等関係団体と協力して啓発活動を実施し、より一層交通事故減少に向けた事業を展開していきます。

地域の課題等の収集手段 7 関係団体からの要望

2 運営方針等との関係 令和2年度緑区運営方針「1 安全・安心なまち」

3 根拠法令・要綱等 交通安全対策基本法、横浜市交通安全対策会議条例、緑区交通安全対策協議会会則、緑区交通安全功労者表彰要綱、緑区スクールゾーン推進組織補助金交付要綱、交通安全シルバーリーダー活動要綱、緑区交通安全シルバーリーダー連絡協議会会則

Table with 2 main sections: 【実績の推移・今後見込み】 (交通事故推移, 放置自転車等の撤去台数) and 【実施内容】 (1-4 items)

【実施内容】
1 緑区交通安全対策協議会の運営：総会、幹事会の開催、功労者表彰等
2 交通安全運動推進：各季交通安全運動、交通安全緑区民大会、自転車交通安全の啓発（マナーアップ）等の実施
3 交通安全教育・対策
(1) 高齢者・児童他交通安全教育・対策：交通安全シルバーリーダー研修、高齢者向け交通安全教育等を実施します。

Table with columns: 細目事業名, 本年度, 前年度, 差引, 説明. Rows for 緑区交通安全対策協議会の運営, 交通安全運動推進, 交通安全教育・対策, 放置自転車対策, 事業費合計.

【根拠とするデータ等】

Table with columns: 課長 (岩岡 敏文), 係長 (河合 利充), 地域活動係 (中村 友樹). Content: 本資料は、公正・適正に作成しました。



[ 緑 区 土木事務所 課 ]

予算区分	防犯・防災・安全対策費 街づくり推進費	性質・ 課題区分	交通安全 土木関係・公園	事業開始年度	令和3年度
------	------------------------	-------------	-----------------	--------	-------

事業名	交通安全施設等整備事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	<input type="checkbox"/>
中期計画-財政運営	<input type="checkbox"/>
重点事業	<input type="checkbox"/>
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	<input type="checkbox"/>

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
20	2

事業評価 書番号	
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,500					2,500
前年度	0					0
増△減	2,500	0	0	0	0	2,500

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費			
メリット+一般財源			
決 算 事業費			
メリット+一般財源			

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	3,000	3,000
一般財源	3,000	3,000

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要 (目的)	「安全・安心なまち」の実現のため、生活道路やスクールゾーンを中心とした市民生活に密接した箇所における歩行者の交通安全対策を推進します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等

- ・道路の安全施設や路面標示については、スクールゾーン協議会からの要望や日常の窓口対応等による市民陳情に対し、重要度の高いものから順次対応していますが、対応の遅れにより事故の危険が増加する可能性があります。
- ・近年は通学路を中心とした道路の安全対策に対する関心も高まっている中で、歩行者の安全確保を最優先として、生活道路における交通安全施設整備の推進を図る必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	7 関係団体からの要望
-------------	------------	------	-------------

2 運営方針等との関係 緑区運営方針 目標達成に向けた施策 施策1 安全・安心なまち

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】  
緑区内各小学校スクールゾーン協議会における土木事務所への要望件数推移

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
要望件数	79	85	112	105

・土木事務所への要望件数は近年増加しており、対応可能なものについて順次対応しています。今後も同様に多くの要望件数が見込まれます。

【実施内容】

各小学校で行われるスクールゾーン協議会からの要望や日々寄せられる陳情を踏まえ、危険度や地域のバランス等を考慮し、生活道路における以下の施設の整備や補修を行います。

- ・区画線（外側線、中央線、路面標示）の新設及び補修
- ・あんしんカラーベルトの補修
- ・防護柵や階段手摺の新設及び補修

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
交通安全施設等整備事業	2,500	0	2,500	工事請負費
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,500	0	2,500	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	道路係
	川崎 哲治	岩谷 輝	池田 直紀

[ 緑 区 地域振興 課 ]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費 地域コミュニティ費 地域コミュニティ費	性質・ 課題区分	生涯学習 国際交流 地域コミュニティ	事業開始年度	平成18年度
------	---	-------------	--------------------------	--------	--------

事業名	市民活動パワーアップ支援事業
-----	----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	2

事業評価 書番号	
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,462					3,462
前年度	3,572					3,572
増△減	△ 110	0	0	0	0	△ 110

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 事業費	2,553	2,868	2,872
算 メリット+一般財源	2,553	2,868	2,872
決 事業費	2,595	2,654	2,168
算 メリット+一般財源	2,595	2,654	2,168

歳出	令和4年度	令和5年度
予 事業費	3,013	3,013
算 一般財源	3,013	3,013

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)

事業の概要 (目的)	緑区市民活動支援センターにおいて、運営委員会を中心に、区役所と協働で、地域で活躍する人材の発掘、育成を目的に、生涯学習や市民活動に関する事業を行います。あわせて、活動団体間の交流を促進するための場づくりや情報提供を行います。また、地域で新たに始まる活動に対して、補助金を交付します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	地域活動を担う人材の高齢化・固定化が進んでいます。交流の場や情報提供の充実、活動団体間の連携、コーディネート機能の充実が必要です。市民活動支援センターでは、市民が中心になり行政と協働で、自主的に研修会、講習会、交流会等を企画・運営していますが、地域活動入門講座や市民活動セミナー、交流事業の充実により、活動の担い手の発掘・養成を継続していく必要があります。人材の発掘・養成と同時に、地域への活動の第一歩を支援する必要があります。また、区内の区民利用施設が、行政と区民の間に立つ中間支援の機能の強化を進め、区民と協働で地域づくりを進めていくことが求められています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等    5 区民アンケート    7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度緑区運営方針「3みどりの魅力あるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	横浜市市民協働条例、緑区市民活動支援センター要綱、緑区生涯学級開設要領、ばそこんひろば@みどり事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

<講座、学級、交流事業>

(単位：人)

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度見込	3年度見込
講座参加者数	701	1,348	948	769	385	770
学級延べ参加者数	497	540	398	174	87	200
交流事業参加者数	3,165	3,729	3,537	2,331	1,165	2,400

<パソコンひろば@みどり事業>

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度見込	3年度見込
めだかの学校	957	962	910	726	363	750
めだか塾	144	124	112	72	36	80
IT講習会(受講者)	147	146	118	91	45	100
補助金開催分(回数)	63人(6回)	84人(6回)	49人(6回)	37人(6回)	19(3回)	40(6回)

【実施内容】

- 1 市民活動セミナー等  
区民と協働で講座の企画、運営を行います。  
①市民活動セミナー ②防災・減災講座 ③地域福祉セミナー ④ちょっと先生の夏休みこども体験講座  
⑤部会研究会 ⑥保育ボランティアの謝金
- 2 市民活動交流会（登録団体、活動団体等の交流、新たな人材発掘、地域交流の場の提供など）  
①市民活動交流会 ②サロンふらっとの開催 ③ちょっと先生の出前講座 ④みどりーむまつりの開催
- 3 生涯学級事業（区民との協働事業による講座等の開催）  
①横浜線ものがたり ②自然を楽しむ講座 ③子育て講座 ④地域活動支援講座 など
- 4 緑区内地域施設間連携  
施設間連携ネットワークを推進するための、連携会議の開催、研究会、連携事業を進めます。
- 5 みどりーむネクスト  
未来のみどりーむを考える組織として、新たな取組の検討・実施を行っていきます。
- 6 講座等のオンライン化対応  
講座やセミナー等のオンライン開催対応のため、パソコン1台を導入し、オンラインライセンス料を支払います。
- 7 ばそこんひろば@みどり事業  
緑区内のIT発展、地域コミュニティづくりを進めるため、パソコン相談（めだかの学校）、パソコン講習会を開催する団体に補助金を交付します。
- 8 緑区地域課題チャレンジ提案事業スタートアップ  
地域で新たに始まる活動に対して、補助金を交付します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
市民活動セミナー等の開催	560	460	100	講師謝金の増
市民活動団体交流事業	600	500	100	講師謝金の増
地域の国際交流事業	0	1,145	△ 1,145	国際交流ラウンジへの事業移管による減
生涯学級事業	470	470	0	
施設間連携	250	50	200	イベントの開催による増
講座等のオンライン化対応	186	0	186	講座等のオンライン化対応による増
パソコン相談コーナーの運営	788	788	0	
IT講習会の開催	159	159	0	
緑区地域課題チャレンジ提案事業スタートアップ	449	0	449	新規事業
事業費合計	3,462	3,572	△ 110	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	岩岡 敏文	佐藤 靖彦	成宮 美保子

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	緑・芸術文化事業
-----	----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,361					2,361
前年度	3,611					3,611
増△減	△ 1,250	0	0	0	0	△ 1,250

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	1,423	1,923	2,523
メリット+一般財源	1,423	1,923	2,523
決 算 事業費	1,369	1,887	2,211
メリット+一般財源	1,369	1,887	2,211

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	2,361	2,361
一般財源	2,361	2,361

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
( 冊 )

事業の概要 (目的)	文化活動に関わる機会の提供と文化活動に携わる人材の発掘・交流を図るとともに、創造性の発揮を促し、緑区内の文化事業の活性化を図ります。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等

・継続した文化活動はありますが、新たな活動者や新しいアート活動が表出する場所や機会が少ない状況です。  
 ・平成25年10月に開館した緑区民文化センターと、区役所、緑公会堂等が連携して事業を行い、互いのノウハウを生かし文化振興を進める必要があります。  
 ・平成28年5月にリニューアルオープンした区庁舎イベントスペースを活用することにより、区民の文化事業への取り組みを支援します。  
 ・文化芸術振興に関して、庁内各課及び局の取組との連動を意識しながら事業を企画・実施していく必要があります。

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
-------------	-------------

2 運営方針等との関係 令和2年度緑区運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」

3 根拠法令・要綱等 緑・芸術祭事業実施要綱、緑・芸術祭事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施・支援事業数	31	36	39	30

【実施内容】

1 地域文化振興

(1) 緑・芸術祭事業(参加・鑑賞機会の提供)  
 ア 一般公募部門参加団体の募集・審査及び事業広報や経費一部助成等の支援  
 イ 共催事業の実施(「野外アート展」創造と森の声2020)、「緑区民音楽祭ふれあいコンサート」、「緑区コーラスのつどい」)

(2) 区庁舎1Fイベントスペースを活用した区民文化振興  
 ロビーコンサート(年4回程度/緑区民文化センター等と共同開催)、サークルミニギャラリー(年4回程度/区内美術・展示系文化団体を公募)

2 交流と人材育成

(1)文化芸術の活動者並びに活動を支える人材の育成交流のため、イベントスペースにおける文化イベントを公募(年4回程度)  
 (2)緑区民文化センターや緑公会堂と連携し、区内文化活動団体向けの舞台芸術レベルアップ講座や、青少年向けの演奏会等を実施

3 アートによるオリパラ機運醸成  
 美術を専攻する地域学生の「スポーツ」をテーマにしたアート作品を地下鉄グリーンライン車輻内に掲示することにより、区内芸術文化の推進とオリンピック・パラリンピックの機運醸成を図る  
 期間:令和2年6~7月(1か月間) 掲出場所:グリーンライン車内広告スペース(1編成)  
 参考:地下鉄中山駅乗車人員 5,700,486人(平成30年度)

【事業費の内訳】	本年度	前年度	差引	説明
地域文化振興	1,410	1,510	△ 100	年度実績に基づく減
交流と人材育成	346	301	45	事業手法変更及び新たな青少年向け事業実施による増
文化芸術によるオリパラ機運醸成	605	1,800	△ 1,195	事業実施年分割による減
事業費合計	2,361	3,611	△ 1,250	

【根拠とするデータ等】  
各事業アンケート結果等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩岡 敏文	係長 伊藤 慎吾	生涯学習支援 係 三樹 睦月
--------------------	-------------	-------------	-------------------

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成17年度
------	---------------	---------	---------	--------	--------

事業名	みどりスポーツ振興事業
-----	-------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	7
主な施策番号	2

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,720					1,720
前年度	1,795					1,795
増△減	△75	0	0	0	0	△75

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	3,899	3,617	1,981
メリット+一般財源	3,899	3,617	1,981
決 算 事業費	3,915	3,569	1,821
メリット+一般財源	3,915	3,569	1,821

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	1,720	1,720
一般財源	1,720	1,720

方針に関する決裁 種別( )  
 有:件名( )、日付(年月)  
 無

事業の概要(目的)	区民が主体となって運営するスポーツ振興団体やスポーツ振興イベントの支援を行い、また、気軽にスポーツ文化に親しむことができるイベント等を区としても実施し、区民がより健康で多様な豊かな暮らしができる環境づくりを進めます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>・横浜市スポーツ協会が毎年実施している成人を対象とした「横浜市民スポーツ意識調査報告書」(以下、「調査」とする。)において、スポーツ観戦をする又は関心がある層はスポーツ実施頻度も多くスポーツに比較的身近に接している事が伺え、また自らを健康であると感じている層も多いという結果が出ている。一方で、スポーツ観戦の機会もなくスポーツ実施の頻度も少ない層は、スポーツを実施していない事に不満を感じつつ、健康満足度も低い傾向にある方が多い結果が出ている。この層には、スポーツその物が好きではないとしている層がある程度存在しているものの、一方で運動不足を感じていたり現状に不満を持っている層も少なからずいる結果が出ており、いわゆる“健康寿命”延伸の必要性からも、こういった層に対してその不満の解消にも繋がるような形で、地域で身近にスポーツに触れられる機会を創出する必要がある。</p> <p>・区として実施するイベントについては、各種スポーツの体験会等をこれまで開催する事が多かったが、単一の種目体験では集客性が低かったり、そもそもその種目に興味のある層のみが集まるイベントでしかなかったりと、スポーツ振興としての裾野の広がりが見出しにくい状況にあった。ここ数年においては、他の事業等とも積極的に連携を深め、スポーツプラスαで、相乗的に楽しめる企画であったり、広がりのあるイベント内容を検討するよう心掛けてきたが、事業の費用対効果を高める観点から、集客性や話題性をより高めることが求められている。</p> <p>・令和2年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により各種イベントの事業実施が難しい状況になり、令和3年度においても、以前のような人を集めてのイベント実施は難しい状況が生じる可能性も考慮に入れ、そのような中でも実施可能な企画内容を考える必要がある。</p> <p>・東京2020オリンピック・パラリンピックには、その内容や開催可否も含めて令和3年度の開催については結論が出ていない状況ではあるが、その大会開催に向けて策定された本市「横浜ビジョン」に掲げられる基本姿勢については、地域においても関心が高まっている状況を活かし、スポーツ関係団体等と連携して取り組むべき内容となっている。</p> <p>・緑区体育協会など、スポーツ振興について行政と共にその役割を担っていただく地域スポーツ団体においては、スポーツ文化の多様性の維持・向上や区民がスポーツに気軽に親しむ機会を継続して提供していくために必要不可欠な存在となっている。しかしながら、各団体の事務局機能等について、区役所が補助的に担う部分が多い現状もあり、それぞれの独立性をより高め、また新たな担い手を各団体で発掘・育成していけるような側面的支援が求められている。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	8 その他
-------------	-------

2 運営方針等との関係	令和2年度 緑区制運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」
-------------	-------------------------------

3 根拠法令・要綱等	スポーツ基本法、緑区体育協会事業補助金交付要綱、みどりスポーツフェスティバル事業補助金交付要綱、横浜市スポーツ推進計画、ラグビーワールドカップ 2019 <sup>TM</sup> 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた横浜ビジョン
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

○緑区体育協会 加盟団体(15加盟団体、3関連団体)により、区民参加の事業を開催。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
大会及び講習会の実施回数	155回	155回	162回	114回	120回程度	150回程度
延べ参加者数						
野球	9,041人	10,403人	10,563人	11,560人	-	-
サッカー	9,150人	8,450人	7,900人	11,306人	-	-
テニス	1,949人	2,453人	2,298人	2,415人	-	-
剣道	2,431人	2,257人	2,286人	2,193人	-	-

○みどりスポーツフェスティバル

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
みどりスポーツフェスティバル	639人参加	777人参加	686人参加	680人参加	中止	700人目標

○みどりスポーツ振興事業(オリンピック、パラリンピック推進事業)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予定)	令和3年度～
内容	①緑区ランニングフェスタ(H28.12.25開催83人参加) ②パラリンピック種目体験会(H29.1.21開催78人参加) ③海堀あゆみ氏によるサッカー教室(H29.2.4開催135人参加)	①ウィルチェアーラグビー体験イベント(H29.12.2開催41人参加) ②緑区ランニングフェスタ(H29.12.17開催78人参加) ③スポーツライミング体験イベント(H30.1.21開催333人参加) ④スポーツライミング体験&スポーツキッズひろば(H30.3.18開催約1,000人参加)	①ラグビー体験イベント(H30.12.2開催60人参加) ②人権啓発講演会(H30.12.4開催303人参加) ③緑区ランニングフェスタ(H30.12.24開催58人参加) ④バドミントンレクチャー!(H31.1.12開催74人参加)	①あたまからだてラグビーを学ぶ(R1.9.7開催 33人参加) ②人権啓発講演会「ふつうって何だろう?～「子育て」を支える活動を通して～」明星大学教授:星山麻木氏(R1.12.4開催 276人) ③フェンシング体験(R1.12.7開催 151人参加) ④緑区ランニングフェスタ(H31.12.22開催68人参加) ⑤バスケットボール教室(新型コロナのため中止)	①緑区あつまラン!フェス～緑区ランニングフェスタ～(R2.11-12月開催、60人程度目標) ②東京1964パラリンピック映像上映イベント(R3.2月頃、50人程度目標)	オリンピック、パラリンピック開催後も見据え、その振り返りと理念・意義の継承も踏まえた企画、スポーツ体験等のイベント実施(年2-3回程度)

【実施内容】

- 緑区体育協会事業  
15種目等の専門部・体育振興部が通年で講習会や区民大会を実施し、初心者から競技者まで幅広く参加できるスポーツ事業を行います。また、従来の競技スポーツ振興に加え、協会本体の自立化及び地域スポーツ振興の取組への活動を支援します。
- みどりスポーツフェスティバル  
世代を問わず気軽に参加できるスポーツレクリエーションを軸に、幅広い年齢層が楽しめる運動機会を提供するとともに、健康増進の取組を啓発します。また、会場を予定する緑スポーツセンター指定管理者の協力を得てキッズスペースを設置するなど、統合型のスポーツイベントとして開催します。主催は、平成27年度よりスポーツ推進委員、さわやかスポーツ普及委員会、体育協会の3者により実施。また、地域プロスポーツチーム等の協賛も得つつ、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりましたが、令和3年度も感染拡大状況も鑑みつつあらためて開催を目指し、内容の充実と参加いただく市民の満足増進を図ります。
- みどりスポーツ振興事業(オリンピック・パラリンピック推進事業)  
令和3年度は、前年度から延期となった東京オリンピック・パラリンピックの開催を迎える年であり、その機会を引き続き活かしつつ区民がトップアスリートや新たなスポーツ競技を身近に感じる機会の提供、またオリンピック、パラリンピックが持つ理念も踏まえ、スポーツ文化を通じた多様性ある社会の実現や理解促進を目指した取組みを、大会終了後も含め年2回程度実施します。  
なお、取組みの実施にあたっては、新型コロナウイルスの感染拡大状況にも留意しつつ、他課や民間企業等とも積極的に連携した事業実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
緑区体育協会事業	750	750	0	
みどりスポーツフェスティバル	300	300	0	
みどりスポーツ振興事業 (オリンピック、パラリンピック推進事業)	566	641	△ 75	イベント実施内容精査等に伴う減
みどりスポーツ振興事業運営費	104	104	0	
			0	
			0	
事業費合計	1,720	1,795	△ 75	

【根拠とするデータ等】

横浜市民スポーツ意識調査(R2.3月、H31.3月)、事業実績(H28-R1年度)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	岩岡 敏文	伊藤 慎吾	奥平 幸太

[ 緑 区 地域振興 課 ]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費 文化・スポーツ・学習振興費	性質・ 課題区分	生涯学習 文化・スポーツ	事業開始年度	平成27年度
------	--------------------------------	-------------	-----------------	--------	--------

事業名	読書活動推進事業
-----	----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	24
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	500					500
前年度	500					500
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	300	300	300
メリット+一般財源	300	300	300
決 算 事業費	322	300	296
メリット+一般財源	322	300	296

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	500	500
一般財源	500	500

方針に関する決裁 種別( )  
 有:件名( )、日付(年月)  
 無

事業の概要 (目的)	緑区内の読書活動の推進と活性化を図るため、地域の市民利用施設や団体等と連携して、子どもから大人までより多くの方が読書に親しみ楽しむことができる環境を整えます。
---------------	---

(説明)																					
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館のほか、学校・保育施設・市民利用施設・福祉施設等や読書関連のボランティア団体などと連携し、身近な読書資源の活用を推進する必要があります。</li> <li>・世代や興味、生活スタイルに合わせて、読書への興味をより高める機会を提供する必要があります。</li> </ul>																				
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等      7 関係団体からの要望																				
2 運営方針等との関係	令和2年度緑区運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」																				
3 根拠法令・要綱等	横浜市民の読書活動の推進に関する条例、緑区読書活動推進目標																				
(実績の推移・今後見込み)																					
CDブック貸出実績																					
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> <tr> <td>貸出数</td> <td>694</td> <td>741</td> <td>590</td> <td>1,068</td> </tr> </table>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	貸出数	694	741	590	1,068										
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																	
貸出数	694	741	590	1,068																	
赤ちゃん絵本セット貸出実績																					
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> <tr> <td>貸出数</td> <td>654</td> <td>606</td> <td>452</td> </tr> </table>		平成29年度	平成30年度	令和元年度	貸出数	654	606	452												
	平成29年度	平成30年度	令和元年度																		
貸出数	654	606	452																		
(実施内容)																					
1 赤ちゃんからお年寄りまで本に親しむ環境づくり【目標1】 青少年向けの読書啓発事業【拡充】、CDブック貸出、おはなし会ネットワーク支援、 区民まつりでの読書啓発イベント(本の交換会) 2 ボランティアの育成【目標2】 中高生ボランティア体験事業 3 ネットワークを活かした家庭・学校での読書活動の推進【目標3】 赤ちゃん絵本セット貸出事業 4 区の特성에応じた読書活動の推進【目標4】 読書活動推進連絡会開催、読書まつり(第二次読書活動推進目標)配付、まちライブラリー事業																					
(事業費の内訳)																					
	<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>読書活動推進事業</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	読書活動推進事業	500	500	0					0		事業費合計	500	500	0	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																	
読書活動推進事業	500	500	0																		
			0																		
事業費合計	500	500	0																		
(根拠とするデータ等)																					
横浜市立図書館年報、横浜市教育意識調査報告書																					

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 齋藤 優子	係長 伊藤 慎吾	生涯学習支援 係 三樹 睦月
--------------------	-------------	-------------	-------------------

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	令和2年度
------	----------------	---------	---------	--------	-------

事業名
子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,500					3,500
前年度	3,500					3,500
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	0	0	0	予算	事業費	3,500	3,500
	メリット+一般財源	0	0	0		一般財源	3,500	3,500
決算	事業費	0	0	0	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	0	0	0	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	次世代を担う子どもたちが、まちづくりに携わる楽しさを知るきっかけづくりとして、子ども達によるまちづくりイベントを実施します。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	令和元年度に、緑区制50周年記念事業実行委員会主催事業として、区内で初めて「子どものまちづくりイベント」が実施されました。 区制50周年記念事業の実施方針「次世代を担う子どもたちが、まちづくりに携わる楽しさを知る」を次の60周年に引き継いでいく事業が求められています。
地域の課題等の収集手段	8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】  
<実績>  
○令和元年度 「緑区制50周年記念事業 子どものまちづくりイベント」※緑区制50周年事業実行委員会主催  
子ども実行委員会：公募（H30年12月～）、説明会（H31年1月）、都筑区の子どもたちへ参加（H31年2～3月）  
子ども実行委員会等（R1年5～8月）  
子ども実行委員：38人  
イベント参加者数：令和元年8月24日（土）290人、8月25日（日）300人  
○令和2年度 「子どものまちづくりPRプロジェクト」  
子ども実行委員アンケート（R2年7月）、子ども実行委員公募（R2年9月）、  
子ども実行委員WEB会議等（R2年10月～12月）、PR作品：MiniMiniMidoriPR動画（YouTube）

【実施内容】

- 子ども実行委員会  
公募（4月：想定20人）、子ども実行委員会（6～10月）、イベント本番にまちのリーダーとして活躍（11月頃）
- 子どものまちづくりイベント  
開催時期：11月頃 実施期間：2日間 会場：未定 参加者数（想定）：100人/回（1日2回を想定）×2日間
- ボランティア募集（随時）
- 事業後継者及びサポート体制の確保：近隣企業、NPO法人及び大学と連携し将来的な事業の担い手を育成

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
子どものまちづくりイベントの実施	3,000	3,000	0	子ども実行委員会支援、イベント企画調整、設営、撤去等
事務費	500	500	0	消耗品費、印刷費（ちらし、資料）、郵送費等
事業費合計	3,500	3,500	0	

【根拠とするデータ等】  
R1年度 参加者（子ども）アンケート結果 来年も参加したい：97%（アンケート回収数：74件）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	区政推進課長	係長	企画調整係長	企画調整係
		山下 みや美		西森 正則	加藤 麻梨子



予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	---------	--------	--------

事業名	青少年地域サポート事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	1

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,373					1,373
前年度	1,479					1,479
増△減	△ 106	0	0	0	0	△ 106

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	2,776	3,118	859
メリット+一般財源	2,776	3,118	859
決 算 事業費	2,678	3,010	780
メリット+一般財源	2,678	3,010	780

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	1,373	1,373
一般財源	1,373	1,373

方針に関する決裁 種別( )  
 有:件名( )、日付(年月)  
 無

事業の概要 (目的)	青少年が健やかに育つ環境づくりを目的に、青少年に関するボランティア団体の活動を支援するとともに、区内高校・大学等との連携を深めます。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等

地域コミュニティの希薄化が危惧される中、地域ぐるみで青少年を見守り育てていく必要があります。また、青少年に地域とのつながりを実感し交流できる機会を提供することが求められています。

地域の課題等の収集手段	8 その他
-------------	-------

2 運営方針等との関係 令和2年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」

3 根拠法令・要綱等 神奈川県青少年保護育成条例、緑区青少年活動事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度(見込み)
区民まつりボランティア	42人	20人	中止	30人

【実施内容】

1 緑区青少年活動事業  
地域の青少年育成力の向上に重要な役割を果たしている団体に補助金を交付し、その活動を支援します。(緑区子ども会連絡協議会、緑区山下地区青少年育成会)

2 青少年地域サポート事業運営費  
区内のより良い社会環境の醸成に向けた啓発活動等、地域における青少年健全育成の取組を推進します。また、児童・生徒の地域との交流を推進します。(募集人数上限50人)

3 区内大学と連携した青少年向け体験講座事業  
区内大学と連携し、中学生を主な対象とした体験講座を開催する(年4回程度)。青少年が講座を通じて大学の持つ最先端技術等を体験することで、将来の進路選択に役立つことを目的とする。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
みどりっこ育成活動支援事業	0	306	△ 306	募集中止による減
緑区青少年活動事業	453	453	0	
青少年地域サポート事業運営費	398	198	200	事業拡充による増
区内大学と連携した青少年向け体験講座事業	522	522	0	
事業費合計	1,373	1,479	△ 106	

【根拠とするデータ等】

各活動報告書(地域活動助成補助金交付団体の活動報告)や、過去実績等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	岩岡 敏文	伊藤 慎吾	岡田 明子

[ 緑 区 こども家庭支援 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成24年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
あんしん子育てネットワーク事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
24	4

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,998					7,998
前年度	7,523					7,523
増△減	475	0	0	0	0	475

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 事業費	7,480	7,397	7,568
算 メリット+一般財源	7,480	7,397	7,568
決 事業費	7,719	6,943	6,793
算 メリット+一般財源	7,719	6,943	6,793

歳出	令和4年度	令和5年度
予 事業費	8,031	8,031
算 一般財源	8,031	8,031

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	子どもの健やかな成長を支援するために、①妊娠期から子育て期までの切れ目のない子育て支援の充実、②地域の人たちの育児支援活動の推進、③区内で行われている様々な子育て支援に関する情報の提供を行います。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	子育て世代を取り巻く環境として、少子高齢化や核家族化、共働き世帯の増加、情報化社会の進展によるコミュニケーション方法の多様化などにより、ライフスタイルが変化してきています。こうしたなかで、地域でのつながりの希薄化による子育て世代の孤立化が問題となっており、子育て力の向上と地域の子育てを支える力が必要とされています。健やかな乳幼児期の子育て支援にとどまらず、学齢期・思春期・青少年期までを視野に、それぞれの状況やニーズに合わせた幅広い取組や相談支援システムが求められています。また、身近な地域での見守りと子育て支援に携わる関係者間の連携を深めるとともに、地域への普及啓発が重要となっています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」
3 根拠法令・要綱等	緑区子育て支援活動事業補助金要綱

【実績の推移・今後見込み】

(1)プレパパ・プレママ教室

年度	27	28	29	30	元
参加延べ数(人)	457人	401人	494人	480人	517人

(2)赤ちゃん教室

年度	27	28	29	30	元
参加延べ数(人)	4,319人	3,711人	3,922人	3,634人	2,973人

(3)歯つらつ1歳児

年度	27	28	29	30	元
参加延べ数(人)	532人	476人	504人	511人	432人

(4)ママのハートバランス事業

年度	27	28	29	30	元
個別相談数	25	17	26	27	25
緑区養育支援台帳掲載ケース	305	334	351	276	248
参 考					
ファミリーサポートクラス参加世帯数	29	26	26	20	19
ファミリーサポートクラス参加延数(人)	127	149	146	117	112

【実施内容】

1 当事者への支援

(1)プレパパ・プレママ教室:土曜・日曜に教室を開催し、就労妊婦やこれから父親になる人の参加を促し、地域で同じ子育てをしていく参加者同士の交流の場とするとともに育児の知識を提供します。区役所会場12回、講師を7人体制に増やして実施予定

(2)赤ちゃん教室:0歳の第1子と保護者及び妊婦を対象に、育児講座を開催します。区内会場14か所の会場各9回 計126回開催

(3) 歯つらつ1歳児:1歳児と保護者を対象に、歯みがき指導と虫歯予防教室(毎月開催)を実施します。  
1日コース(9回実施予定) 2日コース(3回実施予定)

(4) ママのハートバランス事業:養育者の抱える育児不安などの思いを言葉に出し、養育者自身の気持ちを整理することにより、育児不安の軽減や、心のバランスをとっていくことを目指し、個別相談を実施します。  
個別相談 年15回予定 スーパーバイズカンファレンス 年1回予定

## 2 子育て支援

(1) 繁忙期の窓口対応等での見守り保育:繁忙期の窓口や、乳幼児健診、予約制個別相談などでのきょうだい児の見守り保育を実施します。

(2) 地域での子育て支援活動育成事業:子育てサークルや子育てサロンの活動に助成します。

(3) みどり子育て支援連絡会:地域の子育て支援のネットワークの充実を目指し、子育て支援活動団体同士の交流、情報交換等を行います。

(4) 緑区子育て支援者事業:出生数が増加している長津田エリア等に、親子で集い、交流や情報交換ができる場を作ります。

## 3 情報提供

(1) 子育て支援情報ホームページ・メールマガジン:区内の子育てイベント等をホームページ「みどりっこひろば」とメールマガジンで発信します。メールマガジン毎月1回配信

(2) みどり子育て応援ガイドブック:区内の子育て情報をガイドブックに集約し、配布します。

(3) 子ども・家庭支援相談パンフレット:区内の子育てに関する相談窓口案内をパンフレットに集約し、保育所・幼稚園・小中学校に配布します。

(4) みどりっこカレンダー:地域の子育て中の家庭に対して、区内の保育・教育施設が地域に開放している行事やサービス等の情報を毎月カレンダー形式で発行し、利用促進を図ります。  
(毎月1回 1,000部発行)

(5) 保育施設のご案内:保育施設の利用を希望される保護者に各施設の情報を提供するため、緑区版の保育施設のご案内、よくある質問に答えるリーフレットを発行します。  
(保育施設案内:5月 2,000部発行 10月 3,000部発行、リーフレット:随時)

(6) 乳幼児健診情報提供:乳幼児健診時に乳幼児健診の内容や子育て情報を伝える映像の内容を更新します。

(7) 放課後事業情報提供:放課後児童クラブ(学童保育)、放課後キッズクラブについて、事業説明等のチラシを作成します。

## 4 新型コロナウイルス感染予防対策

各事業の実施時や相談窓口等で使用する、新型コロナウイルス感染予防対策用物品を購入します。  
(消毒液、ウェットシート、石鹸、マスク等)

### 【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
			0	
プレパパ・プレママ教室	692	596	96	講師の増【コロナ対策】
赤ちゃん教室	1,530	1,530	0	
歯つらつ1歳児	770	770	0	
ママのハートバランス事業	402	402	0	
中学生等キャンパスチャレンジ事業	0	35	△ 35	事業終了
繁忙期の窓口対応等での見守り保育	621	621	0	
地域での子育て支援活動育成事業	275	275	0	
みどり子育て支援連絡会	49	49	0	
緑区子育て支援者事業	519	519	0	
子育て支援情報ホームページ・メールマガ	577	577	0	
みどり子育て応援ガイドブック	777	777	0	
子ども・家庭支援相談パンフレット	93	126	△ 33	郵送費の単価の減
みどりっこカレンダー	696	696	0	
保育施設のご案内	297	247	50	説明会に代わるリーフレット発行による増
保育所等利用者説明会・個別相談会	0	103	△ 103	説明会・相談会の廃止による減
乳幼児健診情報提供	100	100	0	
放課後事業情報提供	100	100	0	
新型コロナウイルス感染予防対策	500	0	500	新規【コロナ対策】
			0	
事業費合計	7,998	7,523	475	

### 【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	五十川 聡	野村 弘毅	高田 智也

[ 緑 区 こども家庭支援 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
保育所すこやか子育て支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
24	3

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,367		36			2,331
前年度	2,717		36			2,681
増△減	△ 350	0	0	0	0	△ 350

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	2,043	2,243	2,721
算 メリット+一般財源	2,007	2,207	2,685
決 算 事業費	2,122	2,033	2,474
算 メリット+一般財源	2,094	2,006	2,448

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	2,717	2,367
算 一般財源	2,681	2,331

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	緑区の子どもたちに関わる全ての人がつながり、切れ目のない支援を目指して、保育資源ネットワークの構築を進めます。相談が多い離乳期のための「離乳食ランチ交流事業」、乳児期の保護者が気軽に立ち寄り授乳・おむつ替えや育児相談ができる「赤ちゃんの駅事業」などを引き続き実施するとともに、参加者が増加している「あつまれ！みどりっこまつり」を継続することでスタッフ・参加者のネットワークを拡充し、地域の子育て支援を推進します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	1：子育て家庭の育児不安解消に向けて、育児相談や育児講座、園庭開等の事業の必要性が高まっており、地域の子育て支援の拡充と、育児支援実施園の拡充を進めます。 2：離乳食に悩む保護者向けの講座実施や、乳幼児連れの保護者が安心して外出できる環境づくりを進めます。 3：地域に開かれた保育所となるため、地域の高齢者等と園児との交流を図る事業を進めます。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	8 その他		
-------------	------------	-------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」
-------------	---------------------------

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

・あつまれ！みどりっこまつり

	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標
参加者	1,715人	1,634人	1,570人	1,399人	946人	—

・市立保育所保育アドバイザー派遣回数

	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標
実施回数	15回	12回	25回	21回	13回	15回

・市立保育所絵本の貸出

	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標
貸出数	16,194冊	14,070冊	14,471冊	16,196冊	16,364冊	16,500冊

・世代間交流

	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標
交流回数	37回	36回	41回	38回	41回	45回

【実施内容】

1 ネットワーク事業(区独自)

(1)あつまれ！みどりっこまつり

ア 対象

未就学児と保護者

イ 目的

- 子どもとのかかわり方や遊びを伝え、育児に役立つ内容を提供し家庭の子育て力を高めます。
- 子育て支援情報を提供し、保育所等が地域の子育て支援を担う施設であることを周知し、支援の充実を図ります。
- 市立保育所が区内保育資源※のネットワークの核となり、保育士等がそれぞれの知識や経験を活かし連携することで、保育の質の向上を図ります。  
※保育所・家庭保育福祉員・小規模保育事業・横浜保育室・一般認可外保育施設・幼稚園等

ウ 内容

手作りおもちゃの作成や親子体操等、親子で参加できる育児支援イベントを実施し、保護者が育児に活かせる内容を提供します。

エ 実施方法

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度は従来の集客をしておの開催は中止とし、代替事業として、緑区の魅力を発信するすごろくの共同制作を行うこととしました。緑区の保育施設からすごろくに盛り込む案を募り、密を避けつつ区内保育施設のネットワークを活かし、子育て支援や保育の質の向上の実現を図ります。完成したすごろくは緑区内の保育施設や子育て支援施設に配付します。令和3年度は、感染症対策を行いながら、集客をしておの開催を予定しています。

(2) 赤ちゃんの駅事業

乳児期は頻繁に授乳やおむつ替え等が必要であり、保護者は外出を控えがちになるため、市立保育所等に授乳・調乳・おむつ替え・休憩等ができるスペースを設置し地域に開放します。本事業を実施する施設に共通のシンボルマークの看板等を掲示することで事業の認知度を上げ、来訪した保護者の育児相談も受け付け、保護者の育児不安等へも対応します。

2 育児支援事業

(1) 保育アドバイザー（保育士）派遣

市立保育所の保育士が地域の子育てサークルの活動場所に出向き、地域の親子に育児相談やおもちゃ等を利用し遊びの紹介を行います。

(2) 絵本の貸出

園庭開放時に地域の親子に絵本を貸出します。緑区読書活動推進目標を踏まえ、積極的に貸出すとともに、お話を開催するなど親子で本に親しむ機会を増やします。

(3) 施設開放拡充事業

育児支援センター園（長津田保育園・鴨居保育園）では、週5日施設開放しており、当該保育園の園児のみならず、地域の育児支援を行っています。育児支援センター園ではない十日市場保育園、竹山保育園においても必要な人員を確保し、週5日の施設開放を実施します。

(4) 離乳食ランチ交流事業

離乳期は赤ちゃんの変化が大きく、特に離乳食については赤ちゃんの個人差があるため、相談のニーズが多く存在します。そこで、調理師・保育士が離乳食の説明をしながら実物の離乳食を試食してもらい、調理法の工夫等を伝え、食に関する育児不安の解消につなげるとともに離乳期について理解を深めます。

3 地域交流事業

(1) グリーンカーテン事業

市立保育所等で植物を育て、自然のカーテンを作り地球温暖化に対する子どもたちの意識を育むとともに、収穫物を調理し、食事会に地域の方を招待するなど、地域交流を行います。

(2) 世代間交流事業

高齢者と園児・地域の未就学児等との交流の機会として伝承遊びや、花苗育成等を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
			0	
あつまれ！みどりっこまつり	601	601	0	
赤ちゃんの駅事業	280	280	0	
保育アドバイザー派遣	20	20	0	
絵本貸出	280	280	0	
施設開放拡充事業	634	634	0	
離乳食ランチ交流	288	288	0	
グリーンカーテン事業	180	180	0	
世代間交流事業	84	84	0	
多言語対応サポート事業	0	350	△ 350	終了
			0	
事業費合計	2,367	2,717	△ 350	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	五十川 聡	野村 弘毅	東 千絵

[ 緑 区 こども家庭支援 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成19年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	DV対策・児童虐待防止事業
-----	---------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
30	4

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	645					645
前年度	645					645
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算	事業費 2,455	845	745
	メリット+一般財源 2,455	845	745
決 算	事業費 2,143	610	609
	メリット+一般財源 2,143	610	609

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	事業費 645	645
	一般財源 645	645

方針に関する決裁 種別( )  
有( )件名( )、日付( 年 月 )  
無( )

事業の概要(目的)	DV被害者等の相談は法律にかかわる複雑な案件が多いため、女性福祉に詳しい弁護士による法律相談を行うことで、相談体制の充実を図ります。さらに、DV相談窓口の広報を強化します。あわせて、児童虐待防止に関する職員向け研修等を実施し、複雑かつ多様な対象者への個別支援の技術向上を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

DVをはじめとする女性の福祉相談は社会的問題であり、DV相談窓口の周知を行っていますが、まだ区役所におけるDV相談窓口の認知が低い状況です。そのためDV相談窓口について、パンフレットの配布やポスター掲示を行うことで、周知を強化します。

平成26年11月に「横浜市子供を虐待から守る条例」が施行されるなど、児童虐待に対する関心の高まりがあり、また支援を要する家庭の数も増加し、家庭状況も多様化し、きめ細やかな対応が求められています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	8 その他		
-------------	------------	-------	--	--

2 運営方針等との関係

令和2年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」

3 根拠法令・要綱等

横浜市子供を虐待から守る条例

【実績の推移・今後見込み】

年度	28	29	30	元
法律相談件数	25	21	22	20
(参考) 女性福祉相談員件数	226	670	1035	742
補助相談員による対応件数	114	134		

児童虐待防止啓発事業				
年度	28	29	30	元
要支援台帳掲載ケース件数	334	351	276	248

【実施内容】

1 DV対策事業

DV問題は、暴力の問題だけでなく、夫婦の離婚や財産分与・子の親権など、法的な課題を多く含んでいます。このためDV問題に造詣の深い弁護士による法律相談を実施します。◆月1回 年間12回実施

2 児童虐待防止事業

児童虐待防止に関する職員向け研修等を実施し、複雑かつ多様な対象者への個別支援の技術向上を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
DV対策事業	404	404	0	
児童虐待防止事業	241	241	0	
			0	
事業費合計	645	645	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	五十川 聡	山本 美樹	高田 智也

[ 緑 区 福祉保健 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	その他福祉・保健・衛生 高齢者	事業開始年度	平成18年度
------	------------------------	-------------	--------------------	--------	--------

事業名	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業
-----	--------------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	14
主な施策番号	1

事業評価 書番号	
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,877	0	0	0	0	5,877
前年度	7,798	0	0	0	0	7,798
増△減	△ 1,921	0	0	0	0	△ 1,921

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	2,536	2,467	5,414
メリット+一般財源	2,536	2,467	5,414
決 算 事業費	2,833	2,390	5,106
メリット+一般財源	2,833	2,390	5,106

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	5,950	5,950
一般財源	5,950	5,950

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要 (目的)	<p>身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、つながりのある緑区を目指して、緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を推進・策定します。併せて、地域が主体的・継続的に課題解決に向けた取組を行うことができるよう、区社会福祉協議会や地域ケアプラザ等と連携して、区役所内の課を超えた横断的な支援を行います。</p> <p>また、要援護者やひとり暮らし高齢者等に対する地域での支えあいと見守りを充実するため、地域の民生委員・児童委員が定期的に電話や訪問による安否確認及び地域イベント等の情報提供を行います。</p>
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>1 地域福祉保健計画推進策定事業 緑区では、人口減少や少子高齢化、社会情勢・世帯構成の変化に伴い、支援を要する高齢者が増加する一方で、高齢施設の入所可能数に限りがあることで、支援を要する方の生活が地域へ移行していくことが想定されます。また、地域の支え手は、単身世帯の増加や家族形態の変容、「一億総活躍社会」による女性・高齢者の就業により脆弱になることが想定されます。</p> <p>このような社会背景のもとで、つながりを持った支え合える地域を目指し、地域や区社会福祉協議会、地域ケアプラザと連携して、地域福祉保健活動の支援を継続していくこと、必要な取組を拡充していくことが求められています。</p> <p>2 民生委員見守り訪問事業 ひとり暮らし高齢者等は、生活を送るうえで外出の機会が減ることで、地域とのつながりが薄くなる傾向にあります。そこで、地域福祉の担い手である民生委員・児童委員が日頃から声かけ等でのコミュニケーションを図り、状況把握や見守りを行うとともに、地域とのつながりを強めることが大切となっています。</p> <p>また、担い手が減少している民生委員の充足率の維持・向上と定着化を図るため、民生委員・児童委員が活動しやすい環境を整備し続ける必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度    4 地区懇談会    5 区民アンケート    7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度 緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」
3 根拠法令・要綱等	1 社会福祉法第107条、第4期横浜市地域福祉保健計画、第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」、緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」推進策定委員会運営要綱等 2 緑区ふれあいあんしん推進事業実施要綱、緑区ふれあいコール事業助成金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】															
1 地域福祉保健計画推進策定事業															
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
第2期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進				第3期みどりのわ・ささえ愛プラン 第3期計画策定				第4期みどりのわ・ささえ愛プラン 第4期計画策定				第5期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進			
第2期市地域福祉保健計画				第3期横浜市地域福祉保健計画				第4期横浜市地域福祉保健計画							

2 民生委員見守り訪問事業		29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
ふれあいコール	登録者数(前年度末時点)	86人	79人	66人	70人	70人
	通話延べ人数	1,270人	989人	787人	1,000人	1,000人
	通話数(1通話3分)	2,168通話	1,701通話	1,275通話	1,500通話	1,500通話
民生委員見守り訪問	見守り・訪問回数	25,527回	25,908回	21,569回	20,000回	20,000回

【実施内容】

1 地域福祉保健計画推進策定事業

(1) 地区別計画推進策定委員会

ア 内容

区内11地区の地区別計画について、第4期計画策定及び推進等に係る推進策定委員会を開催します。  
また、各地区別計画推進策定委員会の代表者の連絡会では、各地区の取組について情報共有、意見交換を行い、区内の福祉保健活動の推進を図ります。

イ 実施回数

- ・地区別計画推進策定委員会：各地区2回以上（6～7月頃、10～12月頃、他）
- ・連絡会：2回（5月頃、10月頃）

ウ メンバー

- ・地区別計画推進策定委員：330人程度（30人程度×11地区）、地区支援チーム（※）：140人程度  
（※）区役所・区社協・地域ケアプラザ等の職員で構成
- ・連絡会：各地区別計画推進策定委員会の代表者11人

エ 事業推進形態

地区別計画の推進に係る各地区委員会の活動のコーディネートや地域活動の企画・進行管理等の業務について、地域ケアプラザに委託します。

(2) みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会

ア 内容

計画の策定及び推進に関して、委員会を開催し、委員に意見を求めます。

イ 開催回数

2回（8月、12月）

ウ 委員

11人

(3) 計画の推進・広報等

ア 第4期区域計画冊子及びリーフレット

第4期区域計画をまとめた冊子及び概要版としてリーフレットを作成します。  
（冊子：2,000部／リーフレット：8,000部）

イ 第4期地区別計画パンフレット

第4期計画の地区ごとにまとめたパンフレットのデザインを委託します。

ウ 緑区社会福祉大会における講演会

緑区社会福祉協議会との共催事業「緑区社会福祉大会」において、第4期計画の啓発を行います。

エ 年度末報告書の作成

令和3年度の計画の推進状況（各地区の取組、区域で実施した事業等）等に関する報告書を作成します。（800部）

2 民生委員見守り訪問事業

(1) ふれあいコールに対する助成

(2) 緑区民生委員・児童委員活動マップの更新・作成

令和2年度に作成した活動マップのうち、民生委員の担当区域の変更や住宅地図に大きな変更があったものについて更新し作成します。（10～3月）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域福祉保健計画推進策定事業	4,967	5,553	△ 586	計画策定委託完了に伴う減
民生委員見守り訪問事業	910	2,245	△ 1,335	民生委員活動マップ作成費の減
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	5,877	7,798	△ 1,921	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	業企画担当・運営企画 係
	米岡 由美恵	稲田 道 鈴木 毅	高橋 哲平 小池 彩加



[ 緑 区 福祉保健 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	健康たうん・みどり推進事業
-----	---------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1
15	2

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,586	0	0	0	0	2,586
前年度	4,004	0	0	0	0	4,004
増△減	△ 1,418	0	0	0	0	△ 1,418

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	5,676	4,224	4,539
メリット+一般財源	5,676	4,224	4,539
決 算 事業費	5,534	3,880	3,880
メリット+一般財源	5,534	3,880	3,880

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	2,586	2,586
一般財源	2,586	2,586

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年 月)  
無

事業の概要(目的)	区民が生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防に取り組むことで、健康寿命を延伸し、身近な地域で安心して自立した生活が送れるよう支援します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

・横浜市民の死因の6割が、がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病です。  
 ・第3期緑区地域福祉保健計画(みどりのわ・ささえ愛プラン)でも、健康づくりに関する取組推進を重点テーマとしており、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを進めるためにも、健康づくりの取組を多角的に推進することが必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	-------------

2 運営方針等との関係

令和2年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」

3 根拠法令・要綱等

健康増進法、食育基本法、健康横浜21、緑区健康づくり月間事業の実施及び同事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

項目	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	令和3年度見込
健康づくり月間参加者数	2,281(雨天)	4,804	3,926	0	2,000
健康づくり講演会参加者数	435	372	0	0	0
思いやり健康づくりの日参加者	2,039	1,831	1,347	240	1,300
生活習慣病予防セミナー参加者	104	265	243	100	100
ウォーキングイベント参加者	68	62	0	60	70

【実施内容】

1 健康づくり月間事業

横浜市では「市民の生涯にわたる健康づくり」を推進するため、10月を「健康づくり月間」として位置づけており、緑区では区民まつりを活用して啓発事業を実施しています。

○ 健康づくり月間イベント

緑区では福祉保健団体(区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会等)で組織した実行委員会が、区民まつり会場の健康づくりエリアにおいて健康づくりに関する啓発活動を実施します。

- ・内容 健康相談、歯科相談、薬の相談、動物の飼育健康相談、沐浴演習、食中毒啓発、健康チェック等
- ・対象者 緑区民、区民まつり参加者

## 2 思いやり、健康づくりの日

平成11年の区制30周年記念から概ね月1回、緑区独自の事業として、区役所ロビー等において健康チェック及び各種測定、健康相談、ウォーキング等を実施しています。事業は保健活動推進員・食生活等改善推進員等と協働で実施し、区民の継続的な健康づくりを支援します。

- ・健康チェック 年9回 ※6月は、食育月間キャンペーンと同時開催
- ・ウォーキング 年7回
- ・対象者 緑区民

## 3 健康たうん・みどり

保健活動推進員が自主的な企画・運営により、地域住民の健康づくり推進のための講座等を開催できるよう支援します。

これら講座の企画・実施等を通し、保健活動推進員が地域の健康課題を把握し活動を推進する力を育成します。

- ・対象者 連合単位地区の保健活動推進員、地区住民

## 4 みどり食育実践推進事業

区民の健康格差の縮小及び健康寿命の延伸を図るために、様々なライフステージにある人々が、多様な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得できるよう、地域、学校、企業等と連携しながら健全な食生活を実践する力を育てます。

あわせて、成人の野菜摂取量がこの10年間で減少し、「健康日本21」の目標値である350gに届いていない調査結果から、野菜摂取不足が過食を招きやすく、生活習慣病のリスクが上がることを踏まえ、緑被率が市内で高く生産農家が多い緑区で、区民が野菜に親しみ、毎食食べる習慣を身につけるための事業を実施します。

### ①食育月間・食育の日キャンペーン

食育と噛むことの大切さの推進・普及啓発イベントを実施します。

#### ア 食育月間キャンペーン

6月の「食育月間」に合わせ、食事診断システムを活用した体験型食事診断、保健活動推進員による健康チェック、食生活等改善推進員によるキャンペーン、歯科相談、野菜直売等を来庁者に向けに行います。

- ・実施回数 年1回（6月） ※思いやり、健康づくりの日と同時開催
- ・対象者 緑区民

#### イ 食育の日キャンペーン

毎月19日の「食育の日」に合わせ、食事診断システムを活用した体験型食事診断、歯科チェック等を乳幼児健康診断を中心とした来庁者に向けて実施し、食育の啓発を行います。

- ・実施回数 年3回
- ・対象者 乳幼児と母親を中心とする緑区民

#### ウ 食育相談

離乳食教室に合わせ、乳幼児の食育相談を行います。

### ②食事診断システムを活用した体験型食育講座

フードモデルを用いた食事診断システムを活用し、様々なライフステージにある区民を対象とした体験型食育講座を実施します。

### ③緑をたっぷり召し上がれキャンペーン

普段、健康にあまり関心の無い区民を含む不特定多数を対象に、野菜摂取量の向上を目的に、各種イベントや野菜直売の機会等を利用した普及啓発を実施します。実施にあたっては食生活等改善推進員と協働で行います。

- ・実施回数 年4回
- ・対象者 緑区民

### ④平常時から考える食の備蓄

平常時から災害時に備えた食の備蓄の重要性を、啓発リーフレット等により、区民に広く周知します。

## 5 若年層の生活習慣病予防講座

生活習慣病を予防する健診の受診率は依然として低く、健康づくりの事業や啓発が引き続き必要です。平成28年度実施の健康よこはま21市民意識調査では、緑区は意識して運動している人の割合が20代から40代で低く、また、特定健診結果では「BMI」「腹囲」「LDLコレステロール」の値が高い人が全市に比べて多い（40～60代）という結果が出ており、若年期からの生活習慣病予防の取組が必要と考えられます。

これらのことを踏まえ、若年のうちから運動習慣をもつ者が増え、生活習慣病の罹患者が減少することを目指し、子育て支援拠点等子育て中の対象者が集う地域場において講座を実施します。

- ・実施回数 年5回
- ・対象者 子育て世代等の若年層

## 6 体験型がん啓発事業

各種事業やイベントにてがんの触診モデル等を使用・展示することで、幅広い年齢層に向けてがん検診の受診への動機づけを図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
健康づくり月間事業	589	1,035	△ 446	講演会不開催による減
思いやり、健康づくりの日	487	487	0	
健康たうん・みどり	230	230	0	
みどり食育実践推進事業	845	789	56	食育相談の実施による増
若年層の生活習慣病予防講座	335	335	0	
体験型がん啓発事業	100	400	△ 300	備品購入済等による減
ミドリウォーキング	0	728	△ 728	ウォーキングイベント不開催等による減
			0	
事業費合計	2,586	4,004	△ 1,418	

【根拠とするデータ等】

健康横浜21をはじめとする各種統計データ、国民健康・栄養調査、事業に伴うアンケート結果等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	米岡 由美恵	山尾敏弘	長尾奈々子

[ 緑 区 高齢・障害支援 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	-----	--------	-------

事業名	高齢者生きがい推進事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
28	2

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	463					463
前年度	475					475
増△減	△ 12	0	0	0	0	△ 12

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	489	432	432
メリット+一般財源	489	432	432
決 算 事業費	500	430	390
メリット+一般財源	500	430	390

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	463	463
一般財源	463	463

方針に関する決裁 種別( )  
 有:件名( )、日付( 年 月 )  
 無

事業の概要 (目的)	高齢者同士の交流を深めるとともに、老人クラブの加入促進やクラブ活動の活性化を図っていきます。日頃の活動発表や、加入促進も兼ねたイベントであるシルバーフェスティバル及び囲碁・将棋大会を開催しています。
------------	---

(説明)

1 地域の課題等

総人口の4人に1人が高齢者となり、今後も高齢者人口及び総人口に占める高齢者の割合は増え続けることが予測されます。「みどりのわ・ささえ愛プラン」の重点テーマである健康づくりに関する取組のために、高齢者のこれまで培った能力や経験を活かすことが求められます。区老人クラブ連合会には、趣味やスポーツの活動だけでなく、地域活動の中心的な役割を担うことが期待されています。しかし、全市的に老人クラブの加入率は年々低下しており、緑区でも加入率を高めることが喫緊の課題です。

地域の課題等の収集手段

2 運営方針等との関係 令和2年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」

3 根拠法令・要綱等 老人福祉法第13条（概要）地方公共団体のレクリエーション等による老人の健康保持事業実施の責務

【実績の推移・今後見込み】

令和元年度の参加者数は、囲碁・将棋大会が70名、シルバーフェスティバルは新型コロナ感染予防のため中止しました。今後も老人クラブ未加入の高齢者に対して、加入促進事業を行います。

- 【実施内容】
- (1) 老人クラブ加入促進に向けた啓発活動
    - ・緑区民まつり等において加入を呼びかけます。
  - (2) シルバーフェスティバル等
    - ・シルバーフェスティバル
      - 区内高齢者による演芸大会 参加予定数 600名 場所 緑公会堂 時期 3月上旬
    - ・囲碁・将棋大会
      - 区内高齢者による大会 参加予定数 80名 場所 緑ほのぼの荘 時期 12月上旬

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
老人クラブ加入促進事業	223	223	0	
シルバーフェスティバル等	240	252	△ 12	鉢数減・感染症対策増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	463	475	△ 12	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩崎 均	係長 深川 愛	高齢・障害運営 係 大久保 純子
--------------------	---------	---------	------------------

[ 緑 区 高齢・障害支援 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成28年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名
障害者自主製品販売支援・ 障害理解促進事業 【前年度:障害者自主製品販売 支援事業】

特記事項
中期計画-38の政策 ○
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充 ○
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
31	5

事業評価 書番号	
事業評価 書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	425	0	0			425
前年度	395	0	0			395
増△減	30	0	0	0	0	30

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 事業費	466	415	545
算 メリット+一般財源	466	415	545
決 事業費	461	209	430
算 メリット+一般財源	461	209	430

歳出	令和4年度	令和5年度
予 事業費	425	425
算 一般財源	425	425

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要 (目的)	障害者通所施設の自主製品販売を支援することにより障害者の社会参加や生きがいがづくりの場を充実させます。また自主製品及び障害福祉についての啓発を通して区民の障害者への理解を促進します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>1 自主製品販売及び販売を通じた障害理解の促進のため、幅広い世代の区民に関心を持ってもらえるような広報が課題です。新たな販売場所の開拓、SNS等の新たな広報媒体の活用を検討します。</p> <p>2 障害者週間イベント等は区内でも各施設、団体が別々に行っていて連携が不十分な面があります。より効果的な広報啓発の機会となるよう自立支援協議会、区社協、地域ケアプラザ等と情報共有し、連携を図ります。</p> <p>3 成年後見制度利用促進について要望があります。障害者に焦点をあてた制度説明の機会は少ないため、制度及び緑区の社会資源を紹介する等、分かりやすいリーフレットを作成します。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
-------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」
-------------	---------------------------

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

1 障害者通所施設のネットワークの強化: 日中活動連絡会 R元年度 3回実施、R2年度3回予定

2 共同販売の推進: 区役所販売 R元年度 13事業所、R2年度 15事業所予定

3 商品の魅力アップ支援: R元年度 勉強会3回、R2年度 勉強会、商品紹介リーフレット作成予定

4 障害理解の促進: R元年度 障害者週間イベント3日間(展示、販売、映画上映) R2年度 コロナ禍の状況に合わせた展示等

【実施内容】

1 障害者通所施設のネットワークの強化: 障害者通所施設の情報共有のため日中活動連絡会の開催を支援します。

2 共同販売の推進: 自主製品の共同販売場所の設定、販路拡大等を支援します。販売チラシ等を作成します。

3 商品の魅力アップ支援: 商品開発等についての勉強会を開催します。また自主製品紹介リーフレットを作成(改訂)します。

4 障害理解の促進: 12月の障害者週間に合わせたイベントを実施し、広報啓発を行います。また成年後見リーフレットを作成します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 障害者通所施設のネットワークの強化	0	10	△ 10	事務費(消耗品費)の減
2 共同販売の推進	45	135	△ 90	デザイン料、項目整理による減
3 商品の魅力アップ支援	110	250	△ 140	講師謝金等の減
4 障害理解の促進	270	0	270	項目整理、リーフレット作成による増
			0	
			0	
事業費合計	425	395	30	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	障害者支援担当 係
	岩崎 均	米山 のぞみ	山元 あかり

[ 緑 区 生活衛生 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	動物愛護・適正飼育 その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成9年度
------	------------------------	-------------	--------------------------	--------	-------

事業名	暮らしの衛生推進事業
-----	------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,666	0	0	0	0	1,666
前年度	1,636	0		0	0	1,636
増△減	30	0	0	0	0	30

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 事業費	1,679	1,759	1,749
算 メリット+一般財源	1,679	1,759	1,749
決 事業費	1,542	1,509	1,521
算 メリット+一般財源	1,542	1,509	1,521

歳出	令和4年度	令和5年度
予 事業費	1,666	1,666
算 一般財源	1,666	1,666

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要 (目的)	区民が安全で快適な生活を送れるよう、食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しい関わり方について周知・啓発を図ります。また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について理解を深めていただくよう事業を実施します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	①例年、食中毒や感染症等が多く発生しており、その予防及び発生時の健康被害拡大防止が急務になっています。営業者や区民への衛生知識の普及啓発により、健康被害の防止を図る必要があります。 ②ペットに関するしつけ・マナーに関する苦情が多く寄せられています。飼い主に対する適正飼育の啓発が必要です。 ③例年、ハチをはじめとした虫に関する相談が多く寄せられます。虫の生態等について市民向けに周知し、過度に怖がらず、適切な対応がとれるよう啓発することが必要です。 ④発災時、避難所では、水道が使えない等限られた中で集団生活を行うため、衛生対策が重要となります。そこで、食品や飲用水の衛生管理、避難してきたペットの対策について市民向け周知し、感染症等の予防につなげることが必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望
2 運営方針等との関係	令和2年度緑区運営方針「1 安全・安心なまち」
3 根拠法令・要綱等	品衛生法・食品表示法・医薬品、医療機器の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律・狂犬病予防法・動物の愛護及び管理に関する法律・横浜市スズメバチ等対策実施要領

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み
食品の相談件数	1,322	1,144	1,078	1,172	1,100	1,100
犬・猫の相談件数	278	308	389	400	400	400
ハチの相談件数	419	277	307	206	300	300

【実施内容】

- 食品衛生等普及啓発事業
  - 食品衛生知識普及啓発  
飲食店等の営業者、調理従事者及び区民に対して「手洗いチェック」や「調理器具等の清浄度チェック」など、視覚的にわかりやすい啓発を行います。【通年】  
また、子ども向けイベント等における食中毒予防啓発を実施します。【年1回】
  - 緑区食品衛生協会と行う啓発  
食中毒予防キャンペーンや区民まつりにおいて食品衛生に関する知識の普及啓発を行います。【各年1回】
  - 秀級施設の普及啓発  
横浜市が定める衛生管理が優れた施設（秀級施設）について、啓発ステッカーを配布し、区内の施設について周知用マップを作成し区民向けに配布することで、営業者及び区民の食品衛生に対する意識を向上させ、飲食店の衛生確保につなげます。【通年】
  - 薬と健康に関する普及啓発  
区民に対してパネル展等により薬の正しい使い方の普及啓発を行います。【年2回】

2 人と動物との共生事業

- (1) 犬の飼い主マナーアップ  
犬の放し飼いの禁止や糞尿の始末の啓発を実施します。【随時】  
飼い主に向けた犬のしつけ方教室を実施します。【年2回】
- (2) 緑区獣医師会との共催啓発  
緑区獣医師会と共催した動物愛護普及啓発を行います。【通年】
- (3) 改正動物愛護法の周知啓発  
動物愛護法の改正に伴う変更点等を事業者や区民に周知します。【通年】

3 安心・快適なくらし推進事業

- (1) 暮らしの中の虫相談  
区民まつりにおいて衛生害虫についての啓発を行います。【年1回】  
虫の日（6月4日）にあわせ、衛生害虫啓発の展示を行います【6月】  
市民からの虫の相談を受け付け、適切な対応方法を助言します。【随時】
- (2) ハチ用駆除器材貸出  
区民が安全かつ安価にハチの巣を駆除できるよう駆除器材の貸し出し及び駆除方法を説明します。【随時】
- (3) 緑区生活衛生協議会と行う啓発  
緑区生衛協と共催した衛生啓発を行います。【通年】
- (4) 緑図書館と共催でイベントを開催し、衛生啓発を行います。【年1回】

4 災害時に備えた衛生啓発事業

- (1) 災害時のペット対策啓発  
狂犬病予防注射会場及び協力動物病院に加え、ペットショップ等の動物を取扱う施設で、災害時に備えたペット防災チラシを配布し、飼い主に向け啓発します。【随時】  
ペットホテル等の動物取扱業監視時に、ペット防災について啓発をします。【随時】  
災害時におけるペット対策として、地域防災拠点運営委員及び市民向けにペット防災講演会を行います。【6月頃】  
地域防災拠点訓練等で、ペット防災について講話や物品展示を実施します。【随時】  
Webページや窓口、展示等で、ペット用避難グッズの紹介や発災時における対応を区民に周知します。【随時】
- (2) 地域防災拠点における衛生啓発  
地域防災拠点における手洗いや、食品・飲料水、トイレの衛生、防虫対策等について啓発を行います。【随時】

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
食品衛生普及啓発事業	909	884	25	新規事業による増
人と動物との共生事業	170	170	0	
安心・快適なくらし推進事業	267	257	10	新規物品購入による増
災害時に備えた衛生啓発事業	320	325	△ 5	印刷物数変更による減
			0	
			0	
事業費合計	1,666	1,636	30	

【根拠とするデータ等】

食品衛生関係施設数（平成30年度）、畜犬登録件数（平成30年度）、ハチ等害虫駆除相談件数（平成30年度）、地域防災拠点数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	食品衛生係	係長	環境衛生係
	古家 浩一	井上 亜希子		今関 修一	